新眞婦人

SHIN SHIN FUJIN

新眞婦人

二月號

〔第廿二號〕

THE FIRST MAGAZIN OF WOMAN'S MOVEMENT
IN JAPAN.

大正四年二月一日發行（毎月一回一日發行）大正二年四月二十六日（第三種郵便物認可）大正四年一月二十八日印刷納本

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

看護婦見習生募集

年齢十八歳以上
學力尋常小學卒業以上
品行方正ニシテ傳染病ヲ有セザル女子ニ限ル

院長診察　月、水、木、金、午前
入院診後應需
林、峰間、兩副長ハ目下當院ニ在勤

（電本）八八八（病院用）
八九八（自宅用）

東洋內科醫院

東京神田駿河臺鈴木町二御茶水橋南

院長　醫學士　**高田畊安**

相州高座郡茅ケ崎町海濱從停車場半里

電話ちがさき二番

南湖院

河野、高橋、兩副長ハ目下當院ニ在勤
院長診察土曜日午後。入院、診後應需

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

三階 二階 階下

大陳列場

御婚禮道具一式調製

清

東京市京橋區金六町角

鷲塚高等簞笥店

電話京橋 五百七十一番 三千四百五十五番

振替東京 一九三七〇番

商品目錄送呈

第一向島工場

向島隅田村一三六九番

電話本所五百二十六番

二月號目次

口繪　二月　　夜美草
扉　若き春の思ひ出　　小生夢坊
家庭に就いて最近の感想　　日向きむ…(二)
婦人問題に對する吾人の態度　　法學士　大塚小一郎…(八)
哀愁と祈禱　　坂本正雄…(一六)
人形の瞳　　山田きよ…(一七)
名妓のぶ　　島田筑波…(二七)
新年蛙聲會の記　　玉露女…(三一)
露國より　　カ、チハチェフ…(三二)
思出のフォセット夫人　　中尾清太郎…(三四)
若かき職業婦人と其父母へ　　西川光次郎…(三九)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

科學的婦人論(二) 高野重三…(四一)

鎌倉より 玉露女…(四七)

慧春の火定石 島田生…(五〇)

新眞婦人短歌 …(五〇)

赤ん坊趣味 西川文子…(五一)

日本の婦人と巴里の婦人 美容研究會主任 小口みち子…(五三)

姙娠中の心得 高橋助産所長 高橋ゆき…(五六)

安井哲子女史に示す書 流蘇女…(五九)

見たり聞たり 文子…(六〇)

新刊紹介 (六一)

二月一日發行

西川光次郎著

偉人の戀物語

定價七拾錢　郵稅六錢

目次大要

一、偉人の介抱人。二、意外な人々の戀物語。三、革命渦中の戀物語。四、英雄の弱點。五、妻を崇拜せし偉人。六、リンカーンとリー將軍。七、ジョンブライトとグランドストン。八、戀文に關する逸話九、大政治家ペリクリスを動かせし婦人。十、偉人の母。十一、中世紀と婦人の力。十二、處女崇拜。十三、婦人なしに何事も出來ざりし時代。十四、奴隷廢止に現はれし婦人の力。十五、情の上より見たる伊太利建國の三傑。十六、普佛戰爭半面史。十七、最近世界の進歩と婦人の力。十八、源平戀物語。十九、戀を中心として見たる建武中興史。廿、情の秀吉と情の家康。廿一、宗敎と婦人の力。廿二、赤穗義士背後の女性。廿三、王政維新と婦人の力。廿四、明治史と婦人の力。

發行所　東京市本郷駒込坂下町四八　振替東京三九三〇　大日本雄辯會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

松崎天民氏新著

新刊好評 忽三版

戀と名と金と

三國久書伯装釘

□中判上製極美箱入紙數三七〇頁

□正價金九拾錢　送料金八錢

「妻」を失ひ新聞社を退いて浪人の新境界に入りたる天民氏が、一管の萬年筆を持し、漂泊の人生と流轉の世路を眺めたる最新の記錄にして、事實を生活の根底に置きたる小説以上の面白き讀物也。その輕快なる筆とその同情ある觀察は必ずや讀者の興味を强要するならん。「戀と名と金と」に就て思ひ煩へる男女は來つて此の書に萬解の涙をそゝげよ。

婦人必讀書類

□大友醫學士　修産婆指田たね子編

姙娠十ケ月

妊婦解剖模形圖挿入　總振かな付

和綴極美全一冊□正價金六十五錢送料八錢

□高橋醫學士　伊藤常子先生共著

育兒三年

和綴極美装　金六十五錢　送料金八錢

□鷗外博士夫人　森しげ女史著

小説 **あだ花**

上製箱入　價金九十錢　送料金八錢

□閨秀作家　與謝野晶子女史著

好評十版 **女子のふみ**

實用と文學とを調示せる最新女用文範なり

洋装極美製　金四十五錢　送料金八錢

□御歌所主事　坂正臣先生書

かな帖

美濃上紙刷　全三冊價五十錢　送料四錢

謹告

小店は全國出版圖書は何書に係はらず敏速御便利に御取次ぎ申上候に付多少共御注文仰せ付け願上候

發兌　東京日本橋區檜物町　振替口座東京二三〇　**弘學館**

發賣　大阪市備後町四丁目　**金正堂書店**

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

産科婦人科小兒科

鷲山改め

女醫 吉岡彌生

院長診察 宅診午前 往診午後

醫員診察 午後

産室及病室の設けあり随時入院の需めに應ず

東京麹町區飯田町四丁目卅一番地

東京至誠病院

(電話番町二二五七番)

産科婦人科
小兒科
宅診午前
往診午後
女醫 井出茂代
內藤新宿番衆町三一
電話番町三六七七番

リウマチス
▲難病にてあらゆる療法効なく御困りの御方に不思議に早く治る弊店家傳の……秘藥を御報らせします、御全快の皆様から日々澤山の感謝狀を下されます一週間分七十五錢送料四錢
東京市淺草觀音仲見世。天勇横通
井筒屋油店
電話下谷……三一五番
振替口座一九六五二番

皮膚科 梅毒科
泌尿器科 腎、膀胱、尿道、睪丸、攝護腺ノ疾患
生殖器科 男女生殖器機能障害
婦人科
診察時間 午前八時ヨリ十二時 午後四時ヨリ七時
日本橋區通二丁目白木屋出口前
ドクトル メヂチーネ 中島鎌太郎
電話本局三九八〇番

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

■アリスコークラン女史著■林靜太先生譯

女子大學校長 成瀬仁藏先生序

婦人の典型

四六判四百頁 洋布製美裝 定價壹圓 郵税八錢

母として、妻として、娘として、男子に及ぼす總ゆる婦人の感化と援助とを、古今實在の賢婦名媛の事蹟に徵して記述せるもの即ち本書也。

▲聖アウガスチンの母モニカ
▲グラッドストーンの妻
▲ビコンスフヰルド伯爵夫人
▲ミルの「エゼリア」
▲「救世軍の母」ブース夫人
△ラジユムの發見者キユリー夫人
△「理想郷」の著者とマーガレットローバー
△大天文學者の妹、カロリン・ハーシエル
△詩人ウオーヅオス兄妹
△ルナンの姉。ユゲニ・ド・ゲリン

其說くところ穩健にして摯實、引例は豐富にして該博なり。即ち是れ健全なる理想を供し、清新高雅なる趣味を與ふる「婦人自助論」と言ふべく而も裏面凜乎たる宗敎的信念は、隱約の間に認められずんばあらず。されば本書に依りて世の婦人は、神聖なる天職と眞正なる使命とを自覺し、精神的向上の一路に多大の光明と指導とを與へらるべく、男子も亦是に由りて、眼界頓に開かるべく、殊に社會研究家、文明批評家、敎育家に對しては、必須材料を供給するものなり。

（肖像寫眞十葉挿入）

家庭經濟の玉手箱 一家和樂の源泉！

和洋家庭割烹辭典

四六判裝幀善美 定價壹圓八拾錢 小包料十二錢

東京割烹研究會編纂

世評摘錄 （家庭必備）主婦の好伴侶

■平易にして實際的なるべきは此種の書の第一の心がくべき要點で、當然の事である。日本料理に就て多くの紙數を割いて詳細丁寧であるも結構である。總ていろは順に配列して撿索には至極便利であるし、加ふるに目次の編成が頗る細密に出來上つて甚だ宜ろしい。（國民新聞）

日本料理は千二百五十種、西洋の料理二百種、其他季節料理、珍料理、地方名物、祝日婚禮の献立等は詳細に、平易に記述す

發兌 【東京々橋尾張町】 警醒社書店 振替東京五五三

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

二　月　　　夜　夢　於

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

本書の英譯は世界の奇書として歐米の讀書界を驚かせり

西太后侍嬪德菱女史著

大阪每日新聞記者 佐藤雪巢譯補

中版二百六十頁上製美本 寫眞版數葉挿入

■新刊■

支那革命 迷宮記

定價金八十錢 □郵送料金八錢□

二十世記の不可思議國なる支那は**世界の謎**として連環の解くべからざるが如し本書は清朝の**怪傑西太后**を中心として宮中府中の裏面に就き當時の侍嬪たりし著者が見物感興のまゝを些の虚飾なく私記せるものにして近く革命以前に於ける**大帝國の末路**を始めとし世人の想像だも及ばざりし**不可思議の事實**は讀者の眼前に展開せられ駭心驚目せしめずんば止まず、客臘大阪角座に於て上演せられ江湖の大喝采を博したるに見ても本書の如何に世界的珍書なるかを知るべし、家庭絶好の讀ものとして愛讀を待つ

□内容摘錄□

■宮中出仕の回顧■宮苑内の西太后■宮女部屋の半日■西太后の排外思想■八ッ當りの西太后■お八好しの西太后■宮中の懲罰■宮中の雨乞■西太后の蒙塵談■西太后の書像問題■油繪師ミス、ジヤイルス■日露戰爭と宮中■光緒帝の眞面目■團匪事件の眞相■瓢簞と菊と曲馬と咸豐帝の忌辰■病中の西太后

發行所 東京市本郷區本郷一丁目大通 電話下谷四三六二 振替東京一二五五八 日東堂

産科
婦人科

篠田病院

本郷區丸山新町

女醫 篠田せい子

電語下谷四〇六八

家傳靈藥

ぢの藥

自宅ニテ安全ニ治ル

●イボ痔●痔痒●裂痔●痔出血●脱肛痔●痔瘻●不灼不切現狀の儘で治療奏効頗る顯著の家傳靈妙藥あり「ハガキ」にて申込有ば病原理由自宅自療法の説明書呈す

●東京市京橋際疊町壹番地

●製藥本舖 小松盛林堂

産婆看護婦派出
生徒養成

東京市芝區三田四國町二番地五號

東京衛生園 産婆看護婦部

電話芝八百六十四番

部長 産婆看護婦 山下まつ子

府下荏原郡大崎町大字桐ケ谷三百五十九番地

産婆部 大崎支局

杏雲堂病院
樂山堂病院
育兒會病院
田端腦病院
帝國大學醫科大學病院
橋爪病院
駿河臺病院
土田病院
小林眼科病院
小林耳鼻科病院
木下病院
中原病院

○樂牛園 牛乳販賣部

○牛乳は樂牛園に限る

○市内ハ遠近ニ拘ラズ迅速ニ配達仕候

株式會社 東海銀行

日本橋呉服町 本店
日本橋堀江町 堀江町支店
本郷三丁目 本郷支店
赤坂田町 赤坂支店
本所龜澤町 本所支店
京橋尾張町 京橋支店
芝三田一丁目 三田支店
淺草並木町 淺草支店

銀座二丁目河岸通（電話京橋八一五 八一六 三一七四）

帝國貯蓄銀行

飯倉支店 飯倉三丁目
赤坂支店 赤坂表町
四谷支店 四谷大通り
本郷支店 本郷一丁目角
神樂坂支店 牛込神樂坂上
吾妻橋支店 淺草花川戸
須田町支店 神田須田町
兩國支店 兩國元柳町
品川支店 南品川一丁目
横濱支店 横濱戸部町
代理店 日本橋坂本町田中銀行

◉一錢以上何程にても御預り最も御便利に取扱申候◉毎月五日迄の御預け金は全月分の利子を付け申候

東京市麴町區內幸町一丁目三番地
電話新橋長二一〇〇、二一〇一番
振替貯金口座　東京一八、九〇〇番

太平生命保險株式會社

社長　中村靜嘉
專務取締役　楠秀太郎
取締役　村井貞之助
取締役　內野五郎三
取締役　前川善平
取締役　倉知誠夫
取締役　左右田棟一
取締役　舟木錬太郎
監查役　潮田方藏
監查役　左右田信二郎
監查役　中田敬義

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

東京市京橋區南鍋町壹丁目四番地

ラヂウム專門療院

電話新参〇壹六番

院長 ドクトル從五位 渡邊鼎

不思議によくきくしもやけの妙薬

しもやけ根切藥

定價 廿錢 十錢 五錢

本舗 安川晃榮堂

東京上槇町支那安東縣

◉各藥店にあります猿馬印に御注意あれ◉

戰爭と家庭教育

●高等女學校の卒業證書は嫁入道具

本校は其卒業證書を諸孃へ授與す。父母の膝下にて家事の傍ら僅少の學費と短日月に自宅にて居住の儘登校の面倒なくして卒業せしめ卒業生には卒業證を授與し在學生に徽章を佩用せしむ。文部省高等女學校に準據するは勿論資格と實力を與へ良妻賢母を養成す。女子の學校生活には種々の危險と弊害との伴ふを免れず又種々の事情にて家庭を離れる能はざる諸孃は速に來りて本校の門に學び光明の端緒を開き幸福を得よ

大日本通信高等女學校

東京本郷新花町

大日本通信高等女學校

電話下谷二五三九番

振替二四六二二番

總長持明院子爵 校長四元學士 學監神戸博士 顧問下田學士 教頭井川學士 教授高等師範卒業雨宮みつ子外卅名

新學期開講紀念として入學金全免の外月謝免除あり

校則見本つき申込次第無料進呈

天下千萬の諸孃が一生幸福に出世せんとせば本校に宛て(はかき)下さらば本誌の愛讀者に限り右諸先生の責任ある出世案內校則雜誌を無料進呈す

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

世間には賣行きの善き書物あり、賣行惡しけれども價値の多き書物もあり。廣く讀まねばならぬ書物を選びて其梗概を説き更に其内容を評論し、其長所と短所とを明らかにし讀書界の火柱たらしめんとするは本書刊行の目的なり。而して評論の爲めに筆を執る人々は孰れも當代知名の文士にして識見學殖小くとも著者と相等しきものならざるはなし。評論とは價値を定むることなり。本書一度出でて思想界始めて群書の價値を解し、些か帝國興國の氣運に貢獻するを得んか、本書の向つて進まんとする理想は實に斯の如し。

名著梗概及評論

袖珍新形頗美本
紙數各約二百餘頁
定價各金貳拾五錢
送料金四錢

好評嘖々既刊書目

以下續刊

- 島崎藤村氏の 藤村詩集 川路柳虹氏著
- 高山博士の 樗牛全集から 三井甲之氏著
- 國木田氏の 獨歩集 福永渙氏著
- バーネット夫人の 小公子 平山訓子著
- トルストイ伯の 戰爭と平和 相馬御風氏著
- 筧博士の 古神道大義 岩野泡鳴氏著
- 大西博士の 西洋哲學史 三木露風氏著
- 和泉式部の 和泉式部歌集 與謝野寛氏晶子著
- 尾崎紅葉氏の 多情多恨 中村星湖氏著

- 綱島梁川氏の 病間録 生方敏郎氏著
- ダンヌンチイオの 死の勝利 西宮藤朝氏著
- 夏目漱石氏の 鶉籠 川路柳虹氏著
- ツルゲーネフの 浮草 本間久雄著
- 三宅雪嶺氏の 世の中 山路愛山氏著
- 櫻井大尉の 肉彈 福永渙氏著
- 新渡戸博士の 修養 西川光次郎氏著
- 和田垣博士の 兎糞録 芦川忠雄氏著
- 夏目漱石の 吾輩は猫である 生方敏郎氏著

發行所 名著評論社 ◎ 賣捌所 東京神田小川町 振替一二三三六 敬文館

河東碧梧桐氏著 反響叢書（第三編）
▲中村不折氏挿畫四葉

最新刊

新傾向句集

■四六版美本
■定價壹圓
■送料八錢

麒麟のごとき句集出づ

碧梧桐氏が新傾向派の大勢を率ゐ句界最高のオーソリティたることは世既に許せり本書は氏が新傾向派を唱導せられしより以來の句作數千を收めて一卷となせるもの附錄俳句に關することどもは句作に最も必要なる藝術的信條を宣明し又氏が許せる新進作家數人を傳せり自序には正岡子規居士に對する愛敬の情流露して纒綿たるものあり宜なる哉本集の成るや畫伯不折氏は好んで春夏秋冬に亘る四大彩筆を寄せられたり今最も鮮明なるコロタイプ版を用ひて原畫に髣髴たらしめたり完膚完膚現今の句抄にしてかく句作者に忠實なる書のありや新傾向派の眞姿に參せんとするの士競ふて本書を繙け

反響叢書

第一編 小宮豐隆氏著
演劇評論
▲四六版四百頁
▲定價金壹圓

第二編 平塚明氏著
現代と婦人の生活
▲四六版三百餘頁
▲定價八十五錢

東京市本鄉區元町 **日月社** 振替東京二八一九一四

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

戰捷國の春を飾る一大快著

日本は嘗て斯の如き快傑を有したり

時事新報連戰

大好評如雷見よ快絶壯絶の英雄物語！

番衆涙人著

伊達政宗

圖南の鵬翼何れの時か伸ばさん。久しく待つ扶搖萬里の風。（政宗）

洋裝菊版七百餘頁
定價壹圓三十五錢
郵税八錢

地は東北に僻在して進んで天下を爭はんには雲遠く霧深し。しかも肉親一族盡く其隙を窺がうて毒爪を磨く。進まんか背後に敵あり。退かんか金瓢の馬印既に函嶺に輝く。前門の猛虎恐るべく、後門の豺狼また防ぐに術なし。進むも滅、退くも亡、死地窮地、正にこれ百尺竿頭に坐する底の人、如かず須らく一歩を進めて十方世界に全身を現せんには。一代の快傑獨眼龍は、血涙を振つて小田原なる豐公の前に、其決死の異裝を示した。

英雄の心緒、亂れて絲の如く其處に萬斛の血涙あり。忠誠の名節あり。豪壯の勇者あり。

著者の筆これを寫すに最も妙、一讀直に血湧き肉躍るの感あらしむ。

我等は戰亂を好まず然れども武士道を尚ぶ

東京本郷 大日本雄辯會發行 振替東京三九三〇

若き春の思ひ出　　小生夢坊

新眞婦人第二十二號

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

家庭に就いて最近の感想

日向きむ

よく人が彼處の家庭は舅姑や小じうとも多いに係らず圓滿にゆくまるで天國のやうだなどと他を評してゐるのを聞くと私はいつもそこのお嫁さんと呼ばれる人は極舊式な 卽 女今川流の囚はれた可憐な婦人かさうでなければ所謂る操縦術に長けたなか／＼したゝかな偉い婦人か何方かであつて決してその中間ではあるまいと直に思ふ、而して尊敬の念とかうらやましいと思ふ心とかゝ起るよりは云ひしらぬ悲哀を先感じる、それはその家庭の中の一人一人の反省と努力と犠牲的精神と人を動かさないではやまぬ高い博い深い大きい溫い愛の慕はしさとを思はせられるからなのである、私は私の思ふ事を心の鏡に映つるまゝ作らず飾らず書いて見る前に『私の立場』と自分で思つてゐる處を明かにしておきたい、私は一つの家庭の嫁として前に云つたその何方にも屬して居ない、したがつて家庭もまだ天國のやうと云ふ程は理想的に圓滿ではない、たゞその天國をめあてとしてさうならうとしてさうしやうとして努力してゐる最中なのであるそれは嫁の私ばかりではない私の家庭の一人一人が今その試練の場にゐる而してお互に密に同情しあふてゐるまた起らうとする風波は水の表面まで上らぬ先に底で自ら流しあふてゐるその海潮のさしひきは勿論宗敎―キリスト敎―が支配してゐる。

家庭といふものゝ中に入れたくないと思ふものは所謂敬遠主義である一度これが入つて來たら柔い心は硬化して溫い情は冷えて、萠える生命は枯れてしまふのである、この死の風の樣な禍はある一人の對象をおいて密かにそれを觀察し批評し白眼をもつて見て一々

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の行動を惡意に解釋してゆけばその對象から合理的に生れて來るものなのである、この敬遠主義を自らも生まないやうにしました人にも生ませないやうに努力するといふ事が家庭の平和のもとでありかつまたそれが社會的女性の立場を固める爲の第一の基礎ではあるまいかと此頃は考へてゐる、嫁といふのは、世の中のあらゆる事と同じやうに絶對の立場でも名稱でも勿論ない昨日の甲の家庭の小姑役が今日は乙の家庭の嫁役を勤めてゐるやうに、今日丙の家庭の嫁であつたものが明日丁の家庭の姑となることは、幾千萬の例が示す通りである、嫁にやつた娘が里に來た時彼女からその姑の無情を聞いて泣いた母が自分の嫁の母をまた泣かせて走馬燈のやうにくる〳〵まはつていたちごつこをしてゐる世の中を思ふ時に『汝等覺めよ！』と天地も震動するやうな大きな聲で宇宙の大靈たる神様が號令して下さつたらその濁つたやうな音響をひきづゝいてゐるなま溫い面倒臭いモヤモヤした囁きを一時に默させて、初冬の高原の空氣のやうに淸く澄みきつたものにする事が出來てどんなによい心持だらうなどと幾度か思つてみる事であるが、實際は不斷にその號令が天地に響き渡つてゐるのだけれど私たち人間の靈の耳が聾してゐる爲きこえないと見えて混線した電話のやうな長く聞いてゐれば頭の惡くなる音を皆で立てゝ靜まる時がないやうになつてゐる。

相對的な假の雅號はどうでもよいとしてそれを一つに貫きとめた女性といふ白銀の糸を緊張させてゆく爲に知るも知らぬも靈の大親睦會を開いてお互の人權の爲に打解けた物語をして舊い人からは實際的經驗の寶玉を新らしい人からは盡ぬ生命の神泉を出し合ふて眞正の幸福をしつかりと握りたいと思ふ。女性の根調は母でなければならない。但し私のいふ母の定義はワイニンゲルの哲學や大別した型の名などに何の關係もないものである、卽石女も母であれば生れたばかりの嬰兒でも愛と純潔を生むといふ立場からは矢張母の名をもつ事が出來る私はさうした意味に於いて女性の根調は萬物を生み、養ひ育てゝゆく母であると信じてゐる

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

その國の男を見ればその國の女がわかるとはいつか誰やらの云つた言である。私はそれを思ふ毎に私も女の一人としてこの世の中に生れた事を恐ろしい程重い責任であると感じる。したがつてそれが大きな悲哀であると感じる、而してそれがまた大きな光榮であると感じる、故にそれが大きな歡喜でなければならないと思ふ、私は今の文壇に筆をとつて立つある一人の男子の讀むに耐へぬやうな不謹愼な文章を見る毎に『あゝこの人の母は妻は姉妹は如何いふ婦人であらう？』と、知りたいやうに思ひながらも自ら赤面するのである、私は女を虐げる男を憎いと思はぬ譯ではないがその男をそこまでやらねばならなかつた少なくもその係りになつてゐた或る幾人かの同性の力なさが悲しく歎かしく腹立たしくなる、無責任であつた母親、或ひは姉妹、妻、友の誰かゞその一人の男の世に流す惡徳の爲に多くの同性に向つて謝罪しなければならない義務があると私は思ふ。それは決して過去の問題でも、何でもない、現在の只今の問題でまた未來の問題である、

家庭といふ言は佛語式に性の冠をつけるとすればＬＡ字をかぶせたいやうな女性的の意が籠つてゐる、息はせる處、溫める處、和らげる處、新らしい生命の湧く處、春の日光のやうな柔かな明るい感じが言外に溢れてゐる、それは私たち女性が專ら受持つべき處であるから自らさうした氣分が漂ふてゐるのであらう、しかしそれは男にしても決して〳〵萬人共通の—家庭についての幻—とはいはれない。いはれないといふ悲しい事實を私は想像する事が出來る。母親の愛の懷から出た青年の昔なつかしい心には、家庭といふ言は、大きい社會で招く功名富貴の輝く旗の手にむかつて馳ける鷲のやうな新らしい希望に次いでは、永遠の春が眠る樂園の黃金の公孫樹に宿る鳩のやうなやさしい胸のあこがれとなつて美くしく慕はしく思はれるであらうまた實社會の荒浪に揉まれ〳〵て生活難の渦卷に足をさらはれやうとしてゐる中年の男子には或ひは首かせ手かせ、是さへなくばと時には呪はしいもの丶代名詞とならぬとはいはれまい、女にもその通り、胡蝶の

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

夢に微笑むもの失はれた幻に泣くもの老若男女その人人の立場によつて家庭はどんなに異つた影を現じてゐるかわからない、けれどもその中で『子の可愛さ』といふ氣丈でも共通點がたしかに殘つてゐる以上はそこにたしかに生命がある（子なき家庭は又自ら異なる愛の立場によりて）生命のある處には眞善美は籠つてゐる筈である、その眞善美のある處が憧がれの的とならずにむしろ避けたいものがあるとすれば其處には必ず何等かの無理がある、不注意がある責任のなげやりにされてゐる事がある、男子から顰眉されるのは勿論女自身の心にでも面倒な處、厚い高い壁で圍まれた外に出にくい城、水の重い淡水湖、といふやうな感じを持つやうになつては最早家庭の恥辱である、さうなるべきではない處でまたさうなりやすいのが家庭といふものゝ性質であるらしい、さうなるべきでないものである以上は私達はどんな戰ひを續けてもさうならすべきではない。よく人はそれは美くしい理想だといふ、然り理想である理想であるから實現の出來る事である、理想と空想とは全然違ふ、此重い氣分を招くと招かないとは私たち女の心がけの如何にあるといふ事は責任の重いのと同時にまた大に建設の希望に滿ちた事ではあるまいか、

私は或る時ある下駄屋の店頭に異々しく盛裝をした五人一家族の婦人連が長時間買物の品評をして主人公を困らせてゐたらしいのをその紳士の一言で知つて、複雜といふ襤褸の重荷が自分に覆ひかぶさつて來た樣に感じて長歎息をした事がある。そのかへり途私はつく／＼單純なる哉單純なる哉と繰返して獨語した。人の一擧一動一顰一笑はその內的生活の象徵である重い二枚重ねのほら／＼した裾や、づなし、つかさの髷形や、背嚢のやうなおたいこや、大きな内容のはみ出した幾個かのふろしき包や、重ね着に前の合はない赤坊のきものや、一つの下駄に百出するゴテ／＼した意見や批評の重荷をひきづつてゆく一家の主人公は日本の今の幾千萬の家庭の主人の代表者の一人だ私は氣の毒に思つて見た。私たちが使つてゐる女中同士のいさかひなど耳にして『あゝ詰らないことをいひ立てゝ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

そんな事はどうでもよさゝうなものだのに……』と思ふ時、如何して其人々を自分と同じ位にさへ思ふ事が出來るだらう例の孔子の養ひ難しの言を思ひ出して歎息をしないだらうか、あゝ私たちは男子にそんな事を密かに思はれて我慢をしてゐられるだらうか、私たちは人の重荷である事は此上もない恥辱だと思はない譯にはゆかない、女の使命は與へる事ではないか、どこまでも母の意識ではないか、たとへ老いて形の上では子の力にたよらなくてはならなくなつても母が子になる事は斷じてない母は何處までも母である黄金の紐のやうな愛のきづなと、輕い自由をつなぎ止める鉛色のくさりとはひきかたもとめかたもちがつてゐる、女が或る意味に於いて與へられてばかりゐるうちは平和も幸福も光榮も充實も自分のものになる筈はない。

私達女は自由を自由をと叫んでゐる、開放を求めてゐる、けれども自分できれる手近の綱にはまるで自ら手を觸れないでゐる、その綱を先自ら斷ちきれば外側のは自然にきれる、よしそれがきれない樣に見えてもそれは芝居の敷皮の五郎の縛のやうなもので實際は縛ではない見物にさう見えるばかりなのである、女の敵は男ではない他人ではない自分自身の無明の綱をきりさへすれば一人一人が本當にきりさへすれば嗚呼その綱も本當はあるのではないものを………

私達女の一大急務はまづサッパリする事だ、小さな事にくよ〳〵しない事だ、自分を自分で重箱の隅まで追ひつめて終はない事だ。大きな洋のある事を忘れない事だ、高い山のある事を忘れない事だ、無數の星のきらめいてゐる無限の空が頭の上にある事を忘れない事だ、自らを思ひ捨てない事だ、先祖から遺傳した恐怖の病を根治する事だ、男と同じに否男より或意味に於いてより多く天から與へられてゐる自由の翅を自信をもつて大に用ひて發達させ、猫の夢を捨てゝ勤勉に實利的に有形無形をとはず自分の力によつて生れた生産物を眞のよろこびとするやうになつたら束縛などは自ら感じなくなつてしまふ、眞理をしばる綱があるなら火を括る糸がある筈だ、自信の火がフロミジア

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ス枯葦を傳ふて心のうちに一度燃えればつまらぬものは皆やきゝられてしまふ筈である。

すべて自分の人格を自ら谷底へひき下すものはさもしいひがみの心である、ひがみは愛の不足から起る、愛される事の不足からも勿論起るが愛する事の不足からも起るらしい、いひかへれば物質精神何れをとはず與へられやうと期待する心ばかり多くて與へやうとする心の少い處に起るらしい、實社會のパン問題としてばかりでなくこの精神を援ける爲に私は婦人の職業問題をお互にもつと深く考へなければならないと思ふ、

私は二三の一口ばなしに大なる敎訓を受けた事がある、ある一人の貴婦人が夫の事務所を訪ふて新調の女帽子を箱から出し、何といふ美くしさでせうとその同意を求めたら、さう、その代金請求書をつひに受取らないで濟むなら、と云つたといふ西洋の話しと、

ある日本の細君が買物から歸つておみやげを取出しながら、是は私からあなたにおみやげ、といふと、夫はそれをひねくりながら、同じ事ぢやないかどうせもとは己から出たのだアハゝ、といつた話しとである、僅かばかりの物質の爲に美くしい精神も、高尙な美術品も光を消し色彩を失ふてしまふ事を思ふ時に、私たちは眠つてはゐられないのである、男も女も强られた責任を感じない處に美も愛も眞に享樂することが出來るのである。私たちは常に自主自治でなければならない。パウロは敎を宣傳する神の使徒は信者達から物をうけるのは當然の事であると云つた、しかしそのパウロは天幕を造る職業を持つてゐた、天幕を造る職業をもつてゐてあれ丈の働をしたパウロにしてはじめて前の樣にいふ權利も生じるわけである、いはゆる職業に出で從事するとしないとは勿論その人々の都合による要はその實力を精神をわがものとする事にある。

老人から子供に至るまで一人一人天から與へられて來た權威ある個性といふものゝ、嚴として存する限りはさうお伽ばなしのやうに目出度一から十まで全然意見の一致した家庭があるとばかりも思はれない、家族主義も各々さめた個人主義のたしかな柱がよつて建てたものでなければ砂上の建築に外ならない、私達女も是からは最早空な稱讃を待つ僞善者流の態度を改めて愛と正義の旗標を日本晴の靑空にひるがへしてどんな荒海でも渡る丈の勇氣と自信を持たなければ眞の幸福歡喜の意義を知る事は出來ない。（大正四、一、七）

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人問題に對する吾人の態度

法學士　大塚小一郎

先輩にして畏友である高野重三氏は頃者『婦人問題早分り』なる一書を公にせられた。而して其一部を辱ふするを得たから、之を一讀したるに其標題の極めて通俗的なるに拘らず、内容は極めて堂々たるもので、其眞摯なる研究、其熱誠なる精神の紙墨の間に躍如たるを覺えたのである。

流行問題を巧に捉へて、名を賣り財を集むる手段とすることの盛なる時代に於て、此著述が毫末もさる卑俗なる分子なく、愛國濟世の赤誠に徹頭徹尾立脚して居るのは、一讀洵に愉快に感ずる處である、其序文に『我國婦人中に一人の無用の人なからしめ、萬人各々其處を得、三千萬の婦人一同に奮ひ起つて、他の三千萬の男子と共に、長短相補ひ、强弱相扶け、以て我國運の發展に資せしめ、尙ほ更に進んで亞細亞十億の民衆の半ばなる五億の婦人の覺醒と奮起を促がし、彼等と相提携して我大陸の興隆の爲めに竭さしむるの一方あるのみであると云ふ事が、一夕突如として天啓か默示の如く私の心中に閃めいたのである』といひ『我日本帝國のみ幸に辛じて獨立國の體面を維持して居るも、これとて今日の遲々たる進歩の有樣では心細い事限ないのである。（中略）之を思ひ彼を思ふて憂國の情轉た禁んずべからざるものがあるのである』といふて居る。斯の如き憂國の大義、愛民の至情より迸り出でたる書物であれば何人が繙くも有益なるは勿論にして其大體の主義に於ては吾人の意見とても差違のあらう筈がない。日本現代の婦人に一大自覺を與へねば、婦人自身の救濟も六ケ敷い從つて日本國の救濟も困難であらう。彼等の生活に一大改良を加へなければならぬ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

彼等の思想に一大改良を加へねばならぬ。而して其法律上社會上の關係も改善せなければならぬことは何人も異存の無い所であらうと思ふ。併し其改善の細目順序等に於ては全然贊成とはいへない。夫れは吾人の婦人問題を考へる態度に於て聊か違ふ所があるからである。本誌第十六號に於て迂生の説を同情を以て深切に批評を試みられた「八ッ當り」君なども矢張此點に於て少しく異る所がある。吾人は婦人問題を單に婦人問題として之を他の社會現象から切り離し、他の社會現象は靜的にして現今と將來を同一なりとして考へないのである。他の社會現象も動的のもので同時に改良せられねばならぬ。而して婦人問題も同時に斯くあらねばならぬと考察するのである。社會現象は有機的のものであつて一現象を他現象から全く切り離すことは出來ないものである。足の手術をする時に胃腸から整へて掛かるのと同じである。現代の社會組織將た産業組織にして動かすことが出來ないか又動かすことの必要がないものとするならば吾人も高野兄及び「八ッ當」君の樣な論斷に至らなければならぬと思ふ。

一、現代の産業組織を先づ動かすべし

生存競爭は頗る劇烈にして妻も子も嫌々ながらも工場に通ひ、或は家庭内の工業に過度の勞役に服さなければならぬ樣な場合には、男女を區別する餘裕が無いのであつて、何うもかういふ場合には婦人と男子と同一に取扱はなければならないであらう。否な斯樣な場合は取扱に付いて、主義とか方針とかを立つる餘裕がないので、男子も女子も滅茶に取扱はれて居るものである。現時の産業組織の發達して居る歐米に於ては此の事實が餘程極端にまで推し詰められて居るから、其不合理のこと、其混沌たることが明白に現はれて居る、天の一方に漲り渡る煤煙を擧ぐる幾多の大工場は男子女子の嫌なく朝な夕なに幾十萬の勞働者を吐呑しつゝある。彼等の顔は過度の勞働の爲めに憔悴し彼等の腰は營養不良の爲めに搖らめいて居る。一度此工場に入ることを拒む婦人は自己及び子女の餓死を覺悟せねばならぬ。一度此工場に吸ひ込まるれば家庭の荒廢

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

は到底逭れることが出來ない。脊に腹は代へられない家庭を棄てゝ餓死を免れんとするは人情である。斯くて歐米の社會は一大洪水の汎濫する勢で家庭を荒廢せしめつゝあるのである、歐米許りではない、吾國に於ても既に其傾向は著しいものがある。家庭が良國民の苗代であり、宗敎や敎育の最も賴みとする要塞であることを思ふ時、吾人は慄然たらざるを得ないのである米國のカールトン氏は此處に睹る所があつて「敎育と產業の進化」といふ著書の中に舊敎育は現代社會には不適合となつた、現代の小學校は舊來の家庭の任務をも盡さなければならぬのであるから、晝ばかりでなく夜も校門を開き、敎師は父兄の位置に立ちて相談相手ともなり、監督者ともならねばならぬと警告して居る之れは寔に卓見である、氏をして婦人問題を論せしめたならば高野兄等と矢張り同樣な名論をなした事と信ずる、然し現代の社會組織や產業組織は動かすべからざるものとの前提の上に成り立つ卓見名論である。

吾人が社會現象を論考するには必ず各方面の事情を考察する、蓋し社會の一現象は他現象と互に表裏し交涉するもので、實は渾然として一なるものであるからである。婦人問題に就ても現社會に婦人は如何にあるべきかといふことを考へるのみならず、現社會は如何に發展し變化して婦人に對さねばならぬかといふ方面をも考へる。近年長足の進歩をした人類には現社會の組織は色々不合理な點、不適合な箇所が出來した。之を先づ第一に改善して掛からねばならぬ。現社會は決して動かすべからざるものでは無いばかりでなく、大に之を變化させ改良して行かねばならぬことゝ信ずる。

二、家庭は人類の一特色なり

現今家庭の運命は頗る危機に瀕して居るといふてよい。然れども家庭は人類には到底失はれてはならないものである。人類に至りて始めて燦然たる發展を示した家庭は洵に人類の特權であり特徵である。人類のあらゆる美質良性の多くは家庭の賜であるといふても決して溢言ではない。雪夜爐邊の團欒に古聖今賢の逸事

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を親子兄弟の温き舌より聞く時の感銘は學校や教會の夫れ以上である。夏日緑陰に一家擧りての清遊は詐略なく、形式なく、批評なく、眞心と眞心、愛と敬との純なる交りであつて、允に人情の醇趣を培ふに力あるものである。朝な夕な、父母の無我の至情、献身の撫育に人類の最も高く最も麗はしき情緒は開拓せらるるのではなからうか。學校や教會を以て神聖なる家庭の任務を盡させやうとするのは止むなき事とはいふもの丶、實に無理な注文といはねばなるまい。

文明の社會に於ては今や、不良少年、低能兒、浮浪徒、精神病者、犯罪者等が滾々不盡の勢を以て繁殖しつゝあつて、經世家慈善家は憂心忡々の情に堪へないものがある。然し其根源たる家庭が荒廢せられて居るに於ては、之れが爲め社會が重大な負擔と責任とを持たねばならぬといふものは必至の歸結である。

紐育マンハタン小兒裁判所に於ける一千九百十三年度の成績報告を見るに其取扱總數は九千十九人にして兩親の一若くば二を缺きたるもの三十五パーセントである。之に兩親の飲酒癖、疾病、貧困等の事情を算ふれば大體は此の如き家庭のものである。

「家庭勤勞の尊嚴」といふ一文を草した時、一二の友人から「新らしき人には歡迎せられないであらう」「古い論のやうである」といふ様なことを聞いた。併し吾人は窃かに其批評家の甚だ時勢に後れて居ることを悲んだ。

産業發展の壓迫を受け、生存競爭のたゞならぬ渦中に投せられた歐米では、十年二十年前に婦人の獨立とか、婦人の解放とかいふことが論せられて居た。然し其歐米では社會上の百害並び出で殆んど收拾すべからざる結果を見、家庭の何うしても無くてならぬ事を悟り、之れが爲めに、經世濟民の大策を立てんとして居る様になつて居る。然るに日本では前車の覆轍をも顧みず今日に及んで亂暴なる婦人の獨立、無考なる婦人の解放を説くといふのは甚だ迂愚な話である。婦人の改善進歩を計り、之れが社會上の地位を高め、又婦人に對する男子の觀念を改むることは寔に大切なことで

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ある。然し家庭を滅ぼすが如き進路は決して許すべからざるものである。特に日本に於ては幸に家庭が未だ甚だしく荒廢に歸して居ないのであるから其内に早く覺醒して貰ひたいといふ情の切なるを覺えるのである婦人の改良婦人の自覺に就ては勿論大に努力せなければならぬ、然かし現時の社會に於て更に一層痛切なるものは如何にして家庭を維持し、之を向上せしむべきかといふ點である、現時の最も重大なる社會問題、國家問題は此の一點に歸着するのである。此處よりして生活賃銀の問題も起る、財政々策、經濟政策の問題も起る。刑事政策、社會政策の問題も起る。國民性の問題も起る。勿論婦人自覺問題は此中に含まるゝのである。問題は現代に止まらぬ、又個人に止まらぬ。國家或は人類社會の永久の生命に考へ及ばねばならぬ、個人の組織は又大切である優良なる兵士も組織が優秀でなくては勝利は期し難い、一時の勝利は永遠の勝利ではない、社會の現象は互に錯綜し關聯して居て一にして百、百にして一である、一現象のみを引き離し來りて之を演繹し推論すれば遂に返すべからざる誤に陷るであらう。一を論ずる時九十九との交渉を忘れてはならぬ。

昨年六月廿日の朝英國首相アスキス氏は婦人參政權東部同盟の代表者を引見された其時代表者等は婦人勞働者の狀況の慘狀を語り、一週間平均賃銀三圓五十錢では婦人一人丈けでも適當な暮は出來難いこと、及び家庭に働いて居る婦人は工場に通ふ婦人よりも寧ろ餘計な稼ぎ人でかゝる婦人は子供を育てゝ國家に對し重大な務を果すものであることを述べて居る。吾人は英國の參政權論者たる婦人が如何に家庭の婦人を尊重して居るかを窺ふことが出來る。彼等は決して上の調子でない決して狹き自己主義でない決して突飛な自然主義ではなく眞面目な社會生活に觸れて居るのを思ふて洵に羨望に堪へないのである。

米國に主婦同盟といふものが近頃起つた、之れは主婦たるものは中流階級の一家の收入の十分の八九は直接に自から消費の任に當るもので、甚だ重要な責任を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

帯ぶるものであることを考へ、主婦が同盟團體的の勢力を利用して家庭を保護して行かうといふのである。

英國の大藏大臣ロイドヂョーヂ氏は偉大なる識見と財政的手腕とを以て千九百十四年度の豫算案を調製して居るではないか、其骨子は中流以下の階級の家庭的生活を圓滿ならしめ、人種的向上を計らんとするもので、保險、敎育、衛生、養老年金、郵便脚夫増給費等にて約一億圓の増額を敢行し、之に應ずる爲めに主として非勤勞所得税、相續税、外國救貧税等を以てし、社會の變遷に對して豫算を適應せしめたるもので其主意は富者貧者、雇傭者、使用人等總ての社會階級の幸福を増進するのみならず各家庭の生活を向上せしめ將來の國家社會を繁榮ならしめんと欲したのである。斯くて此の豫算はロバートピール、グラッドストンの大豫算と並び稱せらるべきものとの批評もあるのである。

三、ユーゼニツクスの立場から

各人が最も有効に活動するといふことは吾人の賛同する所である。併し吾人は更に一層根本的な問題を持つて居る。されば吾人名々が七十年、八十年の一生涯を最も有効に活動するに止まらず、之と同時に次の時代の人々をして最も有効ならしむることに心を留めなければならぬ。今日を非常に有効ならしめんとして活動するものは、明日の疲勞の爲めに休憩せねばならぬことを忘るゝことがある。一生を最も有効ならしめんと一圖に思ふものは次時代の子孫のことを念頭から脱失せしむることがある。自己の一生は僅かに五十年百年であるが、次の時代を通じて生くる生活は永遠に亘るものであることを熟慮して、將來悠久に有効なる國民を殘すことに吾人の精神を澆倒せしめねばならぬ。現下の享樂、刹那の氣分、個人の充實といふ様な思想が其處にも此處にも附和せられ雷同せられ、極めて狹隘な不徹底な個人臭味の哲學が流行し、演繹的にして獨斷的な思潮の横溢する今日、吾人が靜かに社會や個人の永久性を廣く科學的に歸納的に考へるといふことも亦頗る意義あることゝ信ずるのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人は決して男子の情慾を充す機關ではない。之は相互的のものである。婦人は決して子孫を生殖する機關ではない、立派なる子孫を生殖養育する責務のあるものである。近眼者流には次時代の子孫の優良なるか醜惡なるかは、我一生の光彩に眩惑せられて之を見損ふかもしらぬが、「國家の生命」、「人類全體の生命」を思ふ程の人は我一生は寔に短かきものにして次時代を慮ることの甚だ意義あるを痛切に感ずるであらう。

立派な子孫を作ることは決して容易なことではない自己の各能力を充分に發展せしめ之を子孫に遺傳せしめねばならぬ。家庭の經濟的情況も改善せしめねばならぬ。婦人の勤勞に對する男子の觀念をも變更せしめねばならぬのであるから、多くの婦人論者の唱ふる主張の多くは此の中に包含せらるゝものである。

元來人類の生活は二樣の目的を有する、一は各自が其能力を發展せしめて個人の充實を計り進歩發達せしめねばならぬ。一は能き子孫を生殖愛育することである。其一を力說して他一を忘るは跛行論である。事業に成功するも、不良の子孫を遺す人には社會は全き尊敬を拂ふ譯には行かない。

不良少年、低能兒、犯罪者、精神病者が滔々の勢をなして增殖し、其子孫が更に醜惡なる子孫を滋殖するならば、人類の運命之れより悲慘なるはない。各個人が充分活動し、充分滿足する生活でも、家庭の存續を危殆に陷れ、人類の美質良性を陶冶する機會を失はしめ、次々の時代の人々を惡化して行く樣な恐れのある生活はどうしても許す譯には行かないのである。

「婦人問題早分り」は有益な書物である然し吾人とは少しく立場を異にするよりして自然其高調する點を異にするのである。

▲附記　本論の起稿者大塚小一郎君は私の敬愛する友人の一人であります。先年東京帝國大學を卒業後日本銀行に入り、暫らく本店で勤務の後、今は小樽の同行支店に在勤中で誠に眞面目な篤學の好紳士であります。劇務の傍ら人種改良論に興味を有ち、造詣頗る深く先年その爲め著書などをなし、近くは又婦人問題にも不尠注意を拂はれ居ると見え、先頃基督教青年會の機關雜誌たる「開拓者」に「家庭勤勞の尊嚴」と云ふ標題で、大に近頃の家庭を呪らふ輕浮なる婦

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

人論に痛撃を加へられました。之れに對し本誌の「八方睨婦」氏は其の獨壇場たる「婦人論八ツ當り」の欄内で之れを縱横に批評されました。又私の近著「婦人問題早わかり」も壹部贈くて置きました。右八ツ當りの批評と拙著に對して本論を起草して同君の立場を明かにされたものと見えます。八ツ當りの批評に對しては私は直接責任はないのであります。又本論の現代の產業組織を改良せればならぬ事、家庭の尊嚴なる事、又人種の改良せればならぬ事等は何れも皆私は反對せざるのみならず、拙著に於ても各方面の改良を施こす方法として婦人にも男子同樣に各種の機會とそれに適應する訓練を與ふるの必要を再三再四高調して置いたのであります。故に同君の立場と私の立場とは一見相異して居る如く見えて居ても、抑もかゝる問題を論ずるに到りし動機又は趣旨に至りては大同小異と思つて居るのであります。素より人々各々其立場を異にし、從ふて其高調する點も異る可きも、大體に於て婦人問題の如き廣く且つ深き問題に關しては決して單純なる理論や觀察を以つて一概に論じ去る可きものではないのであります。諸人の異れる立場よりなす各種の觀察及び議論を比較混化して最も優れたる理想を得るものと思つて居ます。此の意味に於て私は大塚君の本論を歡迎するものであります。

（高野重三）

閑談會

年の新なると共に、每月一回づゝ閑談會を開くことにしようと思ひ付き、每月二十五日夜私宅で開くことにして、一月二十五日夜其の第一回を開きました。二月も同じく廿五日に開きます、何人も來會御隨意、會費も何にも入りません。

私共の方で、會に少しも意匠をつけません、全く自由で、御出で下された方から出る、質問其他から、話に枝が出で、花が咲いて、一夕を樂しく過ごしたいと云ふものが、此の會の趣意であります。

ソウ云ふ趣意の會ですから、別に講演を依賴したり、會員方に案內狀を出したりしません。たゞ本紙の讀者諸君が廿五日と云ふことを記憶して居て下さつて、其の夜幸に御閑暇が御在りでしたら、御遊びに御出でなすつて下さい。（西川文子）

▲二月廿五日午後六時半より

▲本鄉區駒込林町二〇六新眞婦人社にて

▲新年匆々から、大阪朝日は、其の日曜附錄に「日本婦人の將來」に就き、各方面の婦人の談話を續載して居ります。

▲本年から、「太陽」は、婦人評論欄を新設し、與謝野晶子さんが、每號之れに執筆することとなりました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

哀愁と祈禱

坂木正雄

はつ春の天をながめておほらかに　ながるゝ雲のひゞきをもとむ

武蔵なる大野をあゆみはてしらぬ　國を想へばなみだ流るゝ

うつくしき清きこゝろの神秘なる　境にわれは行かむとぞ思ふ

夜もすがら神にねがひをかけて寝て　あしたとなれば心清からんか

世の中はなにがよろしくはたなにが　あしきかをすら知らで生くなり

遠見ゆる曠野のすゝきを飛びて行く　白鳥に似しこゝろともがな

みづからは神に批判をねがふべき　値すらなき身ぞとかなしむ

おほかたの男てふものみづからを　いつはりてこそ生けるならまし

世の中のすべての女をわが母と　なして生くるはたのしかるらむ

男の子にて男の子を呪ひ男の子にて　女らが生く國をうらやむ

女とてなどて男のたましひを　つちかひ得むとまたもさゝやく

ともすればこゝろうち沈み野の上を　高行く雲をひたにうらやむ

しかすがに謎のやうなる人々の　生活を見てをののくわれは

しかすがに謎をときうる人ならぬ　そのわれを見てをのゝくわれは

かゝるときたゞ一片の言の葉を　おもひいづれば胸よみがへる

わだつ海の底にいつまでわがこゝろ　あるらむ強くいざ起てわが魂

つかれたる身をわが室にはこび來て　ふと故郷のにほひかぐかな

ともすればかたくなになるわが心　つれに歌をば與へたまへ神

歌うたひ神にいのりをさゝぐてふ　その善きことすら忘るゝ吾なり

うつくしき花より更にうつくしき　なにものをかも欲りすわれなり

さびしくば歌をうたへよ哀しくば　祈禱をせよと神はいふらむ

（大正四年一月詠）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

人形の瞳

山田きよ

空には星が冷たく光つて居た。

お絹は北風の吹き通す横町を、薄い吾妻下駄の歯をかた〳〵いはせ乍ら歸つて來た、狹い溝板をひとつ跨ぐと、磨硝子の電燈に「はらだ」とぼんやり照らし出されて居る格子の前に立つて、手袋をはめた手で心持ち強く戸をたゝいた。

「はあい」と奥の方で呑氣らしい女の聲がしたけれど、急には誰も出て來さうもなかつた。お絹は不用心なので出かける時にはきまつて錠を卸させて置くのだけれど、こんな寒い晩に自分の家まで來て居ながら、いつ迄も立たされて居るのを、彼女はつく〴〵つらひものだと思つた。

家並のまばらな山の手の夜は、赤電車がいつて了つた後は全く人通が絶えて、靜かといふよりは物凄いやうである。遠くでなく犬の聲までが手に取るやうに聲えて來る。

お絹は霜柱の立つた土の上から、冷え切つた風がすう〳〵裾にあたるのを我慢して立つて居たが、恰度木賃宿を追はれた悲慘な勞働者が持つやうな悲哀を感ぜずには居られなかつた。

彼女は戸につかまつて身ぶるひした。大理石の丸柱の大玄關に、勿體らしく自動車を横附けさせて居る、きらびやかな女の姿が、彼女の眼の前を電のやうに横ぎつた。彼女は小さな誘惑が自分の心の上をあたふたと過ぎていつたのをいぢらしく思ふと、果敢なさとやる瀨なさとがめぐりを廻つて、自分の體を深い墓穴へ引込んでゆく

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

やうであつた。
お絹は此頃のやうな、つかまへ處の無い、不安の生活を續けてゆくのが、いかにも堪られなかつた。恁うかしてこの苦しさを紛らして了はなければならないと考へた。彼女は靜かな夜が來ると、何ものかに追かけられるやうに、劇場の華やかな空氣に觸れに行つた。
莊麗な建物のうちに、つどひ來る奢侈な婦人達のうちにたち混つて、色彩の鮮かな舞臺に向つて居たり、幕間の人いきれや香水の匂ひや煙草の煙などで濛々とする廊下を歩いたりして居る間は、幾分か壓迫されるやうな心臟の苦しさから逃れる事が出來た。彼女にはそれが夢のやうに淡い歡樂であるとは知り乍らも、僅かの間でも快よい時を過ごす事が嬉しかつた。
しかし常に襲つて來るその暗い恐怖は、彼女が周圍の紛らはしさから離れると、すぐにまた用捨もなく彼女の心に掩ひかぶさつて來るのであつた。
「お仙はまた居睡をやつて居たね。早くおしなねえ、ちれつたい」
いつも合手の姿さへ見えれば、元氣にもなり強くもなるお絹は、のろ〳〵と錠をあけて居る下女を叱り付けた。
お仙は主人の不機嫌に驚きあはてゝ戸を開けたが、無暗と丁寧に頭を下げた。
「さつさと戸締をしておしまひ。電話は何處からも來なかつたかい」
「あの高津さんから」
「なんて？」
「何處へお出になつたかとお尋ねでしたから、芝居だと申あげました。」
「あれつきりで逢はずに居たのに、いまになつて恁うして電話なんかゝけたのだらう。逢ひたいとでもいふのか

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

しら、そんな未練らしい事をする人ぢやないのだが――あゝ何もかも厭になつちやつた。」

お絹は電氣の消えて居る茶の間に入ると、コートも襟巻もぬがずにいきなり炬燵にとび込んで、友仙めりんすの布團の中に顔を埋めて啜り泣いた。

お絹は自分で自分の氣持が分らなくなつて了つた。

光井さんが旅先きで急病になつたといふ電報を受取つたのは、恰度暮れの廿六日であつた。洗濯ものをする近處の婆さんが來て、もう近い處の山に雪が降つたらうと言つて寒がつて居た。お絹は薄曇りのどんよりした空から、たより無い日光の差して居る椽側に出て、ふわ／＼した毛布團の上に坐つて、肩から大きなタオルを掛けて洗髪を乾かして居た。

彼女は先きの尖つた鋏で爪を切り乍ら、子供のうちに樂しんで待つて居た正月の事を思つて懐しんだ。初めて高島田に結ひあげた時の嬉しかつた事から、光井さんに世話になるやうな破目になつて了つてから、急に年を重ねるのがつらくなり始めた事などを思ひ出した。彼女は世間や周圍に對する幼稚な反感から、大切な一生を惜氣もなく光井さんに投げてやつた自分の愚かしさをいつも嘲笑して居たが、いまはそんな過去一際の過失を省みる事もなく、眞面目に自分を見出さうと努力するやうになつたのは、全く自分を理解して呉れる高津の愛の力である事などを考へたりした。

お絹はいつも高津を戀しく思つて居た。彼女は光井さんに自分の體をすつかり所有されて居るけれど、自分の生命は自分で握つて居る事が、高津に對する彼女の誇であつた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「あなたと同棲するとしたら、あたしは世界中の女といふ女男といふ男を殺して了はなければならない。けれどそんな奇蹟は來る筈もないからまあいいわ。あなたはあたしにちつとも嫉妬心がないと仰るけれど、あたしは大變な燒餅やきなんですよ。わかつて?」

お絹はこんな事を高津に言つて笑つた事があつた。彼女は高津がいつも思ひ切りよく別れていくのを、僅かの憎しみを混へた喜びを胸にたたへ乍ら見送るのであつた。高津は彼女の弱者に對する殘酷な氣分をよく知つて居た。さうして女の黒い瞳に送られて、或寂しさを抱いては歸つてゆくのであつた。

洗髪を輕い銀杏返しに結つたのは電燈のつく時分で、もう高津の來るのに間もない頃であつた。

お絹は今日こそ高津に眞實を語る覺悟をして居た。荒海に船出するやうな、强い冒險的の勇氣を抱きながら、湯あがりの化粧を鏡臺に向つて直して居ると、光井さんから電報が來た。急病で病院に入つたが、死ぬかもしれないので、その前にぜひ逢ひたいといふのであつた。

夕暮のもの寂しさが一度に襲つて來た。

お絹は遂に一度光井さんに對して持つた事のない憐みが胸に湧きあがつた。自分にも分らない涙がはら〳〵と落ちた。

北國の灰色した冬空に旅の身で患つて居る男の姿が浮んで來ると、彼女は爲なければならない事を忘れて居たやうに思はれ始めた。恁しても男の死ぬ前にたつた一度だけでも深切にしてやらなければならない。それが自分の使命であるかのやうに思はれて來た。

彼女は涙ぐみ乍ら考へた。光井さんが勝手に自分を愛したとは言へ、あの男にあらゆる犧牲を拂はせ乍ら、自分はいつも仇敵のやうに憎んで、何かしら問題を引き起しては烈しく彼を苦悶させるのが常であつた。さうし

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て彼が苛ら〳〵すればする程情なく振舞つて、いつでも自分の過たれた過去に對する苦痛を補つて居た。彼程自分に對して執着する男はなかつた。彼は自分の背景にはたしかに必要な人間であつた。お絹はそれに氣附くと、指を傷けた時ふと思ふやうな遥な不自由さを感じるのであつた。彼女は頬から落ちた涙をみつめて、自分の背景を失ふ心細さであらうか、或は眞實男を想ふ情からであらうかと疑つて思ひ惑つた。

お絹は卷紙をとりあげて高津に書いた。

「今夜こそあなたにあたしのほんとの氣持をいふ積りで居ましたけれど、光井さんが死んで了ふのです。あたしはあのひとに死なれたら、もうあなたにほんとの事が言へなくなつてしまふのです、たださういふ氣がするのです。これから光井さんのところへいきます。あたしはどうなるか自分でもわかりません」

お絹は手紙をお仙に渡すと、平常着のまゝ汽車に乘り込んで了つた。

薄暗く曇つた北國の空には、細かい雪が時々おもひ出したやうに降つて居た。

お絹は停車場からすぐに車を病院に走らせた。彼女はしいんとした病室に光井さんの衰弱した姿を見出した時、何と言つて慰めてやらうかと考へた。自分の驚いて馳けつけた姿をみて、どんなに喜ぶ事だらう。それ許りでなく斯うやつて自分の焦り乍らゆく氣持を知つたなら、どんなに感謝する事だらう。彼女は光井さんの臨終の姿なども描いてみた。あの男は最後に自分の名を呼ぶであらう。さうして自分の居ないのに氣附いて、日頃の自分の冷やかさを知り乍らも、どんなに恨めしく思つて死ぬ事だらう。彼女は光井さんの冷たい體に縋つて居るやうにしんみりと涙を催した。

お絹は息がはづんで來た。車を降りると直に木造の病院の玄關にかけ込んだ。大きな輪の眼鏡をかけた受附の爺さんは、土地に見馴れない女の姿を不審氣に見守つた。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

彼女は恐ろしい事が近付いたやうに思ふと、今迄のさわがしい心が落着いて了つた。さうして自分の姿を後から見て居るやうな氣がして來た。東京から來て居る光井さんを尋ねて來た事を話すと、爺さんは大きな聲で溜りの看護婦を呼んだ。火鉢にあたつて居た肥つた赤い顔の女が出て來て、病室に案内しやうとした。

お絹は光井さんのその後の模樣をたづねると、神經過勞の爲めに腦を惡くして卒倒したのだで、一時は大變なさわぎをしたけれど、いまでは難かしいやうな事はなくすつかり落着いて了つた。これならば二週間位で退院が出來るだらうといふ見込みだと答へた。

光井さんは元氣で居た。少し拔けあがつた額が平常と變りなく油ぎつてゝ艶々して居た。お絹の姿を見るともう病人らしくなくなつて了つた。田舍の病院の設備のない事や、看護婦の氣のきかない事や、食事の惡い事や、それからやりかけた仕事の打捨ててあるのが氣にかゝる事などをのべつに喋つた。

お絹は夢から覺めたやうにはつきりして、電報を受取つてからの自分の造りあげた空想が、美事に破壞された事を快よく思つた。彼女の心の中に潛んで居た天使の持つやうな愛の姿は忽ち消え去つて、彼女は以前光井さんに對した時と同じ態度に變らせられて了つた。

光井さんの枕許の椅子に腰をおろしたお絹は、につこりともしないで權のある濃い眉をよせて默つて居た。

しかし光井さんはそれを決して不思議の事とは思はなかつた。お絹の心の細い情の變化を知らないから、彼女の來た事を深く喜んで、面やつれのした横顔をみて殊更に美しいものゝやうに思うた。さうして何事もみな旅に疲れた爲だと思つて、却つてゝいとしさが増す許りであつた。

「芝居だ。芝居だ。あたしは芝居がしたかつたのだ。あたしは光井さんに死んでもらひたかつたらしい」

お絹はそれを大きな聲で言つてみたかつた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

病室は靜かに過ぎた。窓からは陰欝な空が見えるばかりで、置時計の音が心の奥に強く寂しさを與へるのであつた。彼女は自分の芝居氣が、いつも眞面目に行かうとする自分を裏切るのが悔しかつた。こんな小さい事件の爲に誘惑されて、何處までも光井さんに引づられてゆくのが悲しかつた。さうして暗い室内に強い光線が、はつと一時に差し込んだやうに、東京に殘して來た高津が矢も楯も堪らないほど戀しくなつて了つた。

光井さんはお絹を自分の所有にして居る事が唯一の自慢であつた。しかし彼の事業の一部の後援者である某伯爵が小間使との間に生したのが、彼女である事もその一つの理由であつた。彼は立派な妻として、自分の華美を盡した邸宅の内にお絹を所有したかつた。

しかしお絹はいつも打算的な男の心を笑つて居た。それから自分は生れない先から、父に呪はれ、母に呪はれ、周圍に呪はれて、尚その上に私生兒として世間の侮蔑を受けつゝ育てられて來た事も忘られなかつた。

「お妾が奥方になるつていふのは大變いゝ事なんでしようね、けれどあたしにはそれが何でもないことなんです。あたしは此まゝにして置いて下さい。つまらない肩書をつけて、あたしの價値をきめないで下さい。あなたは奥方が欲しけりやあ、何處かの貧乏なお公家さんのお姫樣でも貰つたらいゝでしよう。さういふお連中はいまのあなたの御身分には降るほどありますよ」

お絹はいつも同じ事を言つては男の要求を拒絕した。

高津と知り合つてから後、彼女は自分の境遇の恥かしさを隱さず話して、第一步をふみ違へた人間だから、自分の身の上に非常な變化が來なければ、今までの習慣から改まる事が出來ないと言つた時、高津は理智に富んだ眼でお絹をぢつと見て居たが、

「境遇を變へる必要はない、只眞面目に自分を考へて、しつかりした女にさへなつたらいゝでしよう」と言つた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

お絹はその時から何ものも及ばない或強い力に縋つて、明るい世界を見始めたのであつた。
光井さんは此頃のお絹の態度を、只呑氣な女だといふ事ばかりで、打捨てゝ置く事が出來ないやうに思はれて來た。何となく底強いものに心を落附けて居るのが氣になつた。彼は實力に於て凡ての男の上に立つて居る事を誇つて居た。しかしその力が彼女を魅するだけの強さを、次第に失つて行くやうに思はれ始めた。さうして遠ざからうとする彼女の心を引止めやうと焦つた。彼は只隠れた何ものかに向つて、絶えず不安と嫉妬とを持つて、
「獨立でもしやうといふのかい。新らしい女になやいけないせ」
彼はいつも探るやうな眼でお絹をみた。
お絹はいつも只笑つて居た。
光井さんは以前にも増して彼女を愛した。しかし何ものかに引かれるやうな彼女の心を、恐ろしい程の執着と、烈しい憎しみとを持ち乍ら、飽までも追究しやうと考へるのであつた。
二日の後お絹は東京へ戻つて來た。それからもう半月許過ぎたが、光井さんの退院の知らせは來なかつた。高津はちつとも姿を見せなかつた。
お絹は自分で自分の氣持が分らなくなつて了つた。
しばらく炬燵の上に突伏して居たお絹は、お仙を呼んで電氣を附けさせた。彼女は上氣した顔をあげてあたりを見廻した。いつも手紙を書く黒ぬりの經机の上に小包が乘つて居た。
「お仙やこれはどうしたの？」

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「お出かけになるとすぐに居きました。つい忘れて居て相すみません」
お絹はぢつと油紙に包まれた小さな箱をみた。忘れもしない高津の筆蹟なので、彼女は懐かし想に取りあげた。
「電話の來たのはいつだつたの？」
「はつきり覺えませんが十時過ぎで御座いました」
お絹は包みを開いた。桐の箱の中に可愛い丶人形が入つて居た。
「あなたは人形のきらひなひとだけれど、この瞳がそつくり似て居るから送つてあげる、私は西の方へゆきます。今夜」
人形の顔を包んだ薄い古野紙に、侵んだやうな墨いろで書いてあつた。
「ぢや立つ時電話をかけたのだ、」
お絹は默つて微笑した。おばこの止めにさして居た簪を拔くと、銀脚の先きで人形のはつきりした黑い瞳を突き始めた。長い髮がほどけて頬にふりか丶るのを拂ひもしないで突ついた。可愛い丶人形は黑い硝子の粉が散つたと思ふ間もなく盲目になつて了つた。
「まあ勿體ない事をなさいますねえ、可愛想ぢや御座いませんか」
お仙は主人の顔と人形の顔とを見比らべ乍ら言つたが、何となく寒さを覺えて襟をかき合せた。
「あたしに似た女があるなんて馬鹿らしい。この世界にお絹はたつたひとりつきりなんだよ。紛らはしいものはかうやつて殺してやる。」
お絹は人形の手をもいだ。白い足や、盲目になつた首は、振袖の美しい着物からばら〳〵に離されて了つた。さうして無慘な死體は暴虐な彼女の手から、また桐の箱に納められた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

彼女の驕つた唇と。嚴かな瞳とは、これまでに見た事のない美しさであつた。
お仙は氣味の惡い思ひをして、目立たぬやうに姿を消して了つた。
お絹はいつまでも靜かな夜をみつめたまゝ坐つて居た。彼女はあらゆる強い力が、自分の足許にひれ伏して居るやうな氣がした。さうして決して來ないと信じて居た奇蹟が來るやうに感じられて來た。
彼女は小鳥のうぶ毛のそよぐやうな微かな響きを聞き始めた。その微かな響きは次第に大きくなつて、幾萬と數しれぬ人間のうめき聲に變つてゆくやうであつた。彼女はそれをぢつと聞くやうに何ものかをみつめて居たが、やがて石膏のやうに蒼白くなつた頰に、快よい笑を漂よはせた。
靜かな夜はいつまでもつゞいた。（大正四、一、九。）

次號豫告

『氣分劇』より大なる聲　みをつくし譯
吾が足跡　紅花
女と調和　白露
婦人論八ッ當り　八方醜婦

右はいづれも大變おもしろいので、二月號に掲載する事にして居りましたが、非常に紙數が増加いたしますので、三月號に延ばさればならぬ事となりました、誠に殘念ではありますが、一ヶ月はすぐ經ちますから皆さんお樂しみにしてゐて下さい。

口なほ三月號より尾崎恒子樣が『生花の趣味』について引つゞき御執筆下さる筈です、右豫告しておきます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

名妓のぶ

島田筑波

一

皆樣のうちにはお琴や三味線の御稽古をなされましたお方が多いのでございますから、さだめし「こすのと」と申す上方唄を御存じでいらつしやいましよう、あの「こすのと」と申す唱歌を作りましたのは、天明年中その名を知られました京都祇園の藝子でのぶと申すもの丶作曲でございます、この藝子のぶの作文に峯崎勾當がしらべをいたしましたものが「こすのと」と申して今日まで評判になつて居ります上方唄でございます、この「こすのと」に關係のございますのは、皆樣方のよく御存じでいらつしやる、彼の芝居や淨瑠璃で大變評判になつて居ります、「三十三所壺阪寺靈驗記」でございます、あの淨瑠璃の冒頭の文句に、「夢か浮世か浮世が夢か」といふ語り出しがございますが、あれはもと「こすのと」の「戀か浮世か浮世が戀か」といふ文句をかへたものでありますことは「こすのと」の文句にくらべてみますと、すぐに分ります「こすのと」の文句と申しますのは、

萍は思案の外の誘ふ水、戀か浮世か浮世が戀か、ちよつと聞たい松の風、問へど答へず山ほと丶ぎす、月やは物のやるせなき、癪にうれしい男の力、ぢつと手に手をなんにもいはず、ふたりして釣る蚊帳の紐

といふのであります、この上方唄はその當時今日松井須磨子孃の「カチユシヤ」の唄が流行ますように、その當時の上方唄の中では尤も持囃されたものですから「三十三所壺坂寺靈驗記」の作者であります團平夫人が、これをとつて「壺坂」の淨瑠璃の冒頭に使はれたも

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

のであらうかと私は考へて居ります、ちとお話が「こすのと」の講釋に過ぎましたが、この「こすのと」の作者のぶと申す婦人も亦お里その人におとらぬ貞操の婦人であつたといふお話をば申上げましよう。

二

のぶ女の美貌と才氣とに打込んで數萬金を投じてこれを愛して居りましたのは、京都の富豪で三井元之助高董と申すもので、今日三井一家では伊皿子家と稱して居ります北家四代の主人でありました、然るに三井家では堅い家憲がございまして、かような放縦な生活をいたすことを禁ぜられて居りましたので、親戚や番頭達は大に驚きまして、忽ち主人をば郷里の伊勢松坂の店に蟄居せしめて、年中の生活費を僅百金と限り、親戚は悉く義絶いたされました、この時のぶ女は京都にとゞまつて居つても別に何等の非難を受けるわけではありませんのに、自から進みまして、富る日は樂みを共にし、窮する時に離別せん事は誠に情に忍びずと申して、強て松坂に從つて參られました、これはこれ實に天明五年七月廿一日でございます、この事に關しましては三井家の記錄に左の如くに記事が見えて居ります。『元之助殿（高董）昨夜（天明五年七月二十一日）下屋敷被レ移妾同伴非ニ家法一非禮』 高陸日記中

かくてのぶ女は寛政九年八月迄丁度十三年の間よく高董につかへて、暇あるごとに夫と共に本居宣長の門に學びまして、をり〳〵源氏などの講義を聽き、また機織ることなどをも習ひ覺えました。

然るにある日の事一人の番頭が參りまして、密にのぶ女に對つて申しますようは、

「あなたがかように主人のために十三年間の御苦勞は、なか〳〵餘の婦人の及ぶ所ではございません、しかしあなたがかうしていつまでもこゝに御出遊ばしては、親戚方の御怒りがいつまでも解けませんので、主人がふたゝび世に出づることが出來かねます、さりながら主人はふかくあなたの實情を愛されて居りますので、いつまでも寵愛の衰ふる日もございませんので、我々番頭どもは痛く案じて居りまする次第でございま

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

すが、いかゞでございましようか、甚だ申悄い事ではございますが、あなたから主人に暇を請ふて京都にお歸りくださる事は出來ますまいか」と、誠實面にあらはれて申述べましたので、のぶ女も主君の爲に敢て爭はず、その言葉に從つて遂に京都に歸ることを承諾いたされました。

三

これを聞きました三井の親戚共は密かによろこんで種々の手道具などをあたへ、旅費を送つて京都へのぶ女を歸させました、のぶ女は京都に歸られてから、貰ひうけました手道具を賣拂つて、七十兩の金を作りました、それで櫛笄などを買ひとゝのへ、別に衣服をも製り、ふたたび祇園にあらはれ歌妓となつて、全盛むかしにまさるほどでございました、その後のぶ女に一人の戀人が來出ました、それは嵐雛助といふ俳優であつて、情好尤も厚く、世間でもこの二人の評判は專らでございました。

然るにこののぶ女の父と申しますのは、御所櫻長兵衞といふ大阪の角力取で、後に角力年寄りをつとめたものです、その弟子がのぶ女と雛助の戀仲を聞きまして、師匠の御所櫻の處へ苦情を申込みました。

「師匠の御娘は雛助とかいふ河原物の妾となつてゐなさるといふ評判ちやが、どうして師匠は河原者風情に御娘を妾となしてだまつてお出なさる、利慾のためになさるのならば、我どもは師弟の關係を斷つてお貰ひ申したい」

と抗議をば申して參りましたので、父の御所櫻は大變に弱り込んで、この事を娘ののぶ女に打明けて雛助との關係を絕つて貰ひたいといふ事をたのまれました、そこでのぶ女はこれを雛助に打明けてどうしたものであらうと相談に及ぶと、雛助は笑つて、

「大想偉い權幕で河原者と罵られるが、元來角力と俳優との尊卑にどれほどのけじめがあらうぞ、彼等みづから浪人をたつるを誇りとしてゐるが、お互に錢をとつて人のみせものになるのは同じ事ではないか、それを彼ひとり威張り散らすは心得ぬ、俳優もむかしは禁

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

裏に召され、公儀の上覧もへたることとあれば、由緒を言ひ立つるに至つては更に高下のあらう譯がない」と、雛助と御所櫻の弟子どもはお互に言爭つて果てしがつかないので、のぶ女はつく〲考へて、これは究竟父を角力取にして置くからこんな爭ひも起るわけで、殊に父も年寄りであるから隱居せしめた方がよからうと、しかるべき家を京都にもとめ豐かに老をば養はしめましたので、この事はなにごともなく濟んでしまはれました、その後雛助は病死いたされてのぶ女は寡となつて藝妓をいたして居りました。

四

　それからしばらくたつて、のぶ女は俳優の文七といふ者におもはれて、遂ひにその妻となられました。處がいくはどなく夫の文七は病にかゝつて治療に手をつくしましても、すこしも驗が見えませんので、のぶ女は夫のために立願してみづから髮を切り讃岐國金毘羅に參詣いたされて祈願をこめられました、けれど文七の壽命はすでに盡きましたものか、のぶ女のいまだ歸らないうちに病死されました、そのころ京坂の諺に「家に千金をつむとも首になるゝことなかれ、もし產を破らざれば必す命を落す」と申されました。それはのぶ女の顏色絕麗に、とりわけその首が艶美であつた處から、人々渾名して首信と申したのでございます。是よりのぶ女は再び嫁す、大阪島の內に出て三たび藝妓をつとめられました。その時分のぶ女はすでに四十歲を越えて居りましたが、猶二十五六歲にしか見えなかつたさうです、そればかりでなく紅粉をほどこさない方が却つて美しかつたといふ評判でございました。

　彼の有名なる「里見八犬傳」を著されました曲亭馬琴翁が享和二壬戌年に大阪に參られまして、一夕道頓堀の酒席にこのぶ女を招きましたことがございます、その時に他の藝妓や幇間どもは、曲亭馬琴の名前を知らなかつたのに、獨りのぶ女だけは馬琴翁の名を呼んで、いろ〲渠れの著作について話されましたので、馬琴翁もその風流を愛し、なにか紀念に一筆をと望まれました、すると再三辭した後に、

　わらはれて夜をひた啼やきり〲す

といふ發句をしたゝめて贈られたが、手跡もいと美はしかつたといふ事が馬琴の「羇旅漫錄」に見えて居ります。（一月十四日）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新年蛙聲會の記

時は一月四日　會場は文子様お宅　と云ふ御通知に接した私は折柄家族一同鎌倉へ避寒中の留守を幸ひ　珍らしく出席の光榮を得やうときむ子様に伺ふと「幸ひきよ子様も御出故此處迄來れば案内する」と仰有つて下さる　お互に長距離電話でありながら兎角話が遠いのでいつもきよ子様の方へばかり掛けやすいのが今日は割合にらくに通じて　例のユメミシのシの字ユメミシのミの字　つて説明しなくても鈴木とも君津とも聞かれずに用が足りた有り難さ。

お晝迄のお約束が少し遲れたので田端のひよどり越を息もつき敢ず上つて伺つて見ると　まだきよ子様がお出が無いので少し待ち合して駒込へ向ふ　林町二〇六がなか〳〵分り難い所で「智慧の輪のやうれエ」「八幡(やはた)の藪知らずのやうれエ」と車の上から感心しながら杉垣の細道を彼方へ曲つたり此方へ折れたり

着くともう二時近く　お先客が三人ばかり。

「隨分分り難い所ね」と云ふと

「エゝ家へ來る方が散々探して寢る時分に辛く訪れて入らつしやる事が有りますよ」

前列右、西川文子、左　伊藤朝子　後列右より左へ、山田きよ子、日向きむ子、有田しづ子、玉露女史、多川すみ子、山口孝子

と仰有るなんぼ御自分の家でもよく此處を覺えなすつた　流石に西川御夫婦は腦(あたま)がいゝ、私なら「私の家は何所です」つて外出する度に迷子になるだらう　と感心して居る内に　寫眞をとる事になる。

お庭の木が都合が惡いと云ふのでなか〳〵手間がとれる　西川令嬢ゆきちやんが退屈なさる　いよ〳〵となつて寫す人が

「ゆきちやん　お口ない〳〵して」と聲を掛ける

男子の横暴無心の幼女の口を失はせんと計るつて怒るのも新年匆々野暮だと思つて

くちなしや　鼻から下は直ぐに腮(あご)

と洒落れて置く。

それが濟むとお雑煮の御馳走になる　ピーナットやお蜜柑等迄御遠慮なく頂戴しながら　様々のお話する　今日はお子様御出産のためか子供の話が多く出たと、一あさ子様がお笑ひなさる　お話の原動力たる赤ちやんは蛙聲會員に初對面せられた後はおとなしく母様のお傍を離れられた

子供の話に次で良人論が出た　要するに「他人(はた)の見る程らくぢや無い」つて云ふ様な不平が交ちる。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

遅く伺つたので盛に論じる程に至らぬ内に　日が暮れたので　あわたゞしくお暇すると　早や外は燈火の街近くは御出座が有る筈のみち子さんの御欠席が淋しい　と噂しながら　連れ立つて白山停留場迄來ると此所できむ子様とお別れして電車に乗つた

連れて來て頂きながら其方たゞ一人殘して去るのかと見返れば　神々しい迄美しい洋裝の君のお姿は黄昏の都大路に繪の樣にかすんで　やがて消えた。

此次は何時皆樣に逢へるやら………出席の少ない私は殘り惜しい一日であつた。

出席者　日向きも、山田きよ、伊藤朝、山口孝、多川澄、有田信文、西川文と私の八人　(玉露)

露國より

久しき以前から御手紙を差し上げたいと思つて居りましたが、用事のために諸方へ旅行中でありましたし、それに次いでは社會的に又國家的の重大事件の突發したために、私人的の通信のことは思ひ出す時間がありませんでした。さて今回の世界的戰爭に際し、貴國と露西亞が互に敵方とならずして、味方となつたのは私が大に喜ぶ所であります。御話の通り露人と日本人との間には互に敵對すべき何等の理由がありません、今や悲しむべき誤解を除去して相提携すべきの時が來ました、共通の利害關係から申しても交誼ある抱合に至るべきであります。一大不幸に遭遇して始めて眞理は勝ちました、且つ私は吾々が正しかつたことを喜ぶのであります。目下我國人は一人殘らず戰爭のことに思をわかつて居ります。今回の戰爭の生ずべきことの豫定や、又この避くべからざることを書いたり、演說した人々も既に多數ありました、又識者は常にスラブ民族の主なる敵は獨逸人であると申して居りました、けれど一般の人々は露獨戰爭の生ずべきことは確信して居りませんでした、まして現在の樣な世界的の大戰爭は何人も期待して居りませんでした。

私は去る六月露都へ參りました、丁度其の折、墺國皇太子の暗殺のことがありました、丁度其のことを新聞で讀みましたが、別に氣にもとめて考へもしませんでした、勿論ある事件が吾々にかく密接な關係があるとは、思ひもしませんでした。それですから動員令が下つても戰爭にはならないだらう、談判で平和な解決が出來ることと信じて居りました。當時獨乙や墺太利の溫泉などに居た露人は冷靜な態度であつて歸國しやうとは思ひませんでした。所が一旦戰爭が避けられないと氣がつくと國民一同は斯くあるべし戰はざるべからず、平和の手段にて解決することは排すべしと決心したのです。今になつて考へてみますと、爭は必ず來るべしとのことは萬人の意識中にあつたにも拘らず、玆に人人はこれを考へてみなかつたのにすぎなかつたのでした。開戰當時の光景は實に雄大なるものでした。動員は非常に迅速に行はれしかも平靜であり、自覺的でありました。各種の同盟罷工、不和などは忽ち止んで了ひ、政府が挑戰に應じて開戰に決した態度などは何人もこれを非難するものなく、批評を加へんとする考を有したる人もありませんでした。國民は事の眞面目なる

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

▼見よ!!時代要求の珍書出でたり好評嘖々

（左の五書直接御注文の方へは世界の大戰一部呈上す）

前判事法學士 荘田要二郎先生序
新眞婦人主筆 西川文子女史序
醫學士 佐々木金二郎先生序
ドクトル 鈴木薫先生閲
日本藥學協會主幹 鴨田脩治先生著

再版

產兒制限論

一名避姙の研究

洋装總クロース金文字入美装
正價金五拾錢
函入小包封送金八錢

本書之を説くこと簡にして要を得、略にして疎ならず本邦に於ける現下唯一の珍本なり、乞ふ健兒を得んとする人は勿論母體の保護と而して遺傳の恐るべきを知らんとする人には是非一讀あれ。

●少く產みて多く敎育せよとは產兒制限論の主眼なり、貧窮人の子澤山は子の爲めに益々貧窮に苦む、戰慄すべき墮胎罪は何んの爲めに起るか、薄幸なる私生兒の增殖するは何故なりや、今や生活難の聲は世界の隅から隅まで反響し、避姙法の研究は既に實行期に入りて成績顯著、

新刊

整形 隆鼻法

ドクトル下田良敬序 藥學協會主幹鴨田脩治著

洋綴美本 價四十錢
附病鼻療法送料免ず

鼻の低き人形の惡き人は勿論醫者も見よ本書の指示せる療法又は矯正せば容易に高くなり裏天や獅子鼻團子鼻煙突鼻の如きも正しき美形の鼻となる良書なり

三版

近視眼矯正及豫防法

醫學士高岡先生閲 鴨田脩治著 眼球解剖寫眞圖入り

洋綴金文字入美本
正價金四十錢

●今や文化の進歩と共に學生にして殆んど近視に侵されざる者あらず。近視を恐るゝは愚なり恐れざるも亦愚なり其理審かに本書にあり。既に幾分にても其疾あるものは瞬時も早く本書に依て之を矯正し。幸ひに其患ひなきものは一日も早く本書を讀みて未然に防ぐことを怠る勿れ。

第四版

どもり矯正法

陸軍敎授西村豐序鴨田脩治著

洋綴金文字入美本
價金四十錢

●本書は墺國醫學博士コオン氏のドモリ矯正法に則り著者が研究の結果世に公にせし者也此書に就て矯せば如何に『ヒドキ』ドモリの人にても數十日の練習にて矯正し得る良書也

第拾版

長身肥滿法

陸軍砲兵曹長與藤久登著

郵劵廿五錢送附あれば直ちに送本す

せの低き人 やせたる人

本書に依る時は高くなる

病後產後其他生れ付の人にても忽に肉付强健となる不思議の療法なり短軀又は瘦て悲觀せる方は一讀あれ。

發行所 東京市本郷區丸山福山町四番地 日本藥學協會

新眞婦人愛讀者には送料免除す

戸板裁縫學校

▲校長　戸板せき子

▲沿革　本校は明治三十五年二月の創立にして、爾來十有四年、其間卒業生を出すこと實に二千四百有餘人なり……明治四十五年三月規則を改正し、大正二年二月更らに學級を增設して夜學を開始し、更らに規模を擴張して教員養成所を設く、而して同年五月二十六日文部大臣の認定を受くるに至れり、其年八月二日組織を改めて財團法人とす

▲修業年限其他　豫科修業期限は三ヶ月以上一ヶ年以下とし其力に應じて之を定む本科修業期限は七ヶ月とし之れを前期三ヶ月後期四ヶ月とし、學期は毎年一月に始め七月に終り四月に始め十月に終り七月に始め一月に終り、十月に始め四月に終る
高等科修業學期限は本科と同じ
中等教員養成科は修業期限を二ヶ年とし入學期日を毎年四月十月の二期とす（高等女學校五ヶ年の課程を二年に短縮したるものにて卒業の後は中等教員檢定試驗を受くるの特權を有す）外に尙ほ研究科あり

東京市芝區三田四國町二の十六號

文部大臣認定
財團法人
私立 戸板裁縫學校
電話芝四四八九番

定期預金　六ヶ月以上年六分五厘

當座預金　百圓ニ付日歩壹錢

特別當座預金　同日歩壹錢貳厘

東京市日本橋區坂本町七番地

合資會社 田中銀行

電話浪花 壹九九番 貳四〇番

東京市淺草區花川戶町（吾妻橋角）

株式會社 **日進銀行**

電話下谷五八八、二二九一
振替貯金口座一四〇〇三番

東京市淺草區千束町二丁目

千束町支店

電話下谷二七七五番

東京市神田區柳原河岸（美倉橋角）

神田支店

電話浪花一五八三、三五九五

埼玉縣越ヶ谷町

越ヶ谷支店

電話越ヶ谷二番

駒込支店 本鄕區駒込淺嘉町 電話下谷九一八番

本鄕支店 本鄕區本鄕三丁目 電話下谷一八九〇番

小石川支店 小石川區大門町 電話番町西九八番

東京市日本橋區元濱町壹番地

株式會社 **尾張屋銀行**

電話浪花 二六二〇番 二六二一番 二六二二番

牛込支店 牛込區肴町 電話番町五八九番

澁谷支店 府下澁谷町中澁谷 電話芝二一四九番

淀橋支店 府下淀橋町角筈 電話番町四一五〇番

皆様薬はホシに限ります

大正四年の改歴と共にホシの薬は一層の努力を以て理想的良劑の眞價を發揮し皆様の御愛用に酬いたいと存じます

ホシ婦人座藥
定價（三個入二十錢、九個入五十錢 二十個入一圓）
子宮の痛み、膣カタル、痲毒性子宮病、月經時の疼痛

ホシ血の道藥
定價（小包二貼入十錢、箱入四貼三十五錢、同七貼六十錢）
月經、子宮病、ヒステリー其の他婦人病の良藥

ホシチオール
定價（小十錢、中廿錢、大五十錢、特大一圓）
火傷、切傷其代皮膚病特効藥

ホシ齒液
定價 一瓶 十錢
齒が痛む時つければケロリと直ぐなほる

ホシ胃腸藥
定價美鑵入十錢、二十錢、五十錢、一圓
胃腸病一切、消化不良、極めて美麗の鑵入散藥

其他製劑卅有余種全國到る所の特約店にあり

ホシ小兒專用藥

蟲藥（むしぐすり）
風藥（かぜぐすり）
咳痰藥（せきとめぐすり）
胃腸藥（ゐちやうやく）
下劑（くだしぐすり）
下痢止（げりどめ）

良藥甘く子供に適す
各：美鑵入十錢
六種箱入六十錢

並に家庭常備品

△**モルトフード** 小兒母乳の代用にもなり重病者の恢復期に特効ある滋養劑（一鑵六十錢）
△**オメガ** 臭氣止め毒蟲劑で藥用石鹼の代用ともなる（一打廿五錢）
△**星化粧石鹼** 美人となる理想品です（一個十五錢、三個箱入四十五錢）
△**星浮石鹼** 定價十二錢
△**星齒磨** 衛生純白佳香の粉末定價一袋三錢 大五錢

資本金百萬圓

星製藥株式會社

東京市京橋區南傳馬町三丁目
電話京橋(特)一七八五番 三〇二〇番 三二一三番 (振替東京二〇五二二番)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

と、危険のあることを覺知して居て尙ほ平靜と信念を失はないのです。私は日露戰爭の折のことを好く覺えて居ります。あの時に比べると、非常な差違です、あの時は大多數が戰爭に反對し、みな否定的態度でありましたが、獨り政府丈けは務めて僞の愛國心を發揚せしめんとしました、戰爭に出かけたのはみな劣等の分子だけでした、醉ぱらひの兵卒や各人の不滿や、政府反對の心地、終には革命を叫んだのでした。それですから戰敗を聞く每に神に感謝を捧げたのでした、斯かる有樣で戰爭の結果吾々は自惚心や慢心を消失せしめました と同時に指揮官の人を得ざりしことを認めて軍隊の改善や主計局部内の不正を除くことなどにつとめて十年をすごしたのであります。この十年が空しく過ぎなかつたと信ずるのであります、今囘は果して昔の戰敗が大に役に立ちました。

酒類の販賣を廢止したこと丈けでも戰爭の甲斐はあつたと云はなければならないのです、動員中は一切酒類の賣捌は禁止されましたがこの結果は大に良好であつたから、戰役中はこれを繼續することになりました、もしかすると永久に廢止するかもしれません。政府はこれがために今年だけでも八〇〇、〇〇〇留の損をしましたが、恐れません、政府は他日この損害を償ふて餘りあるべき稅源を無害にして善良なる稅目よりして收めることでしよう。

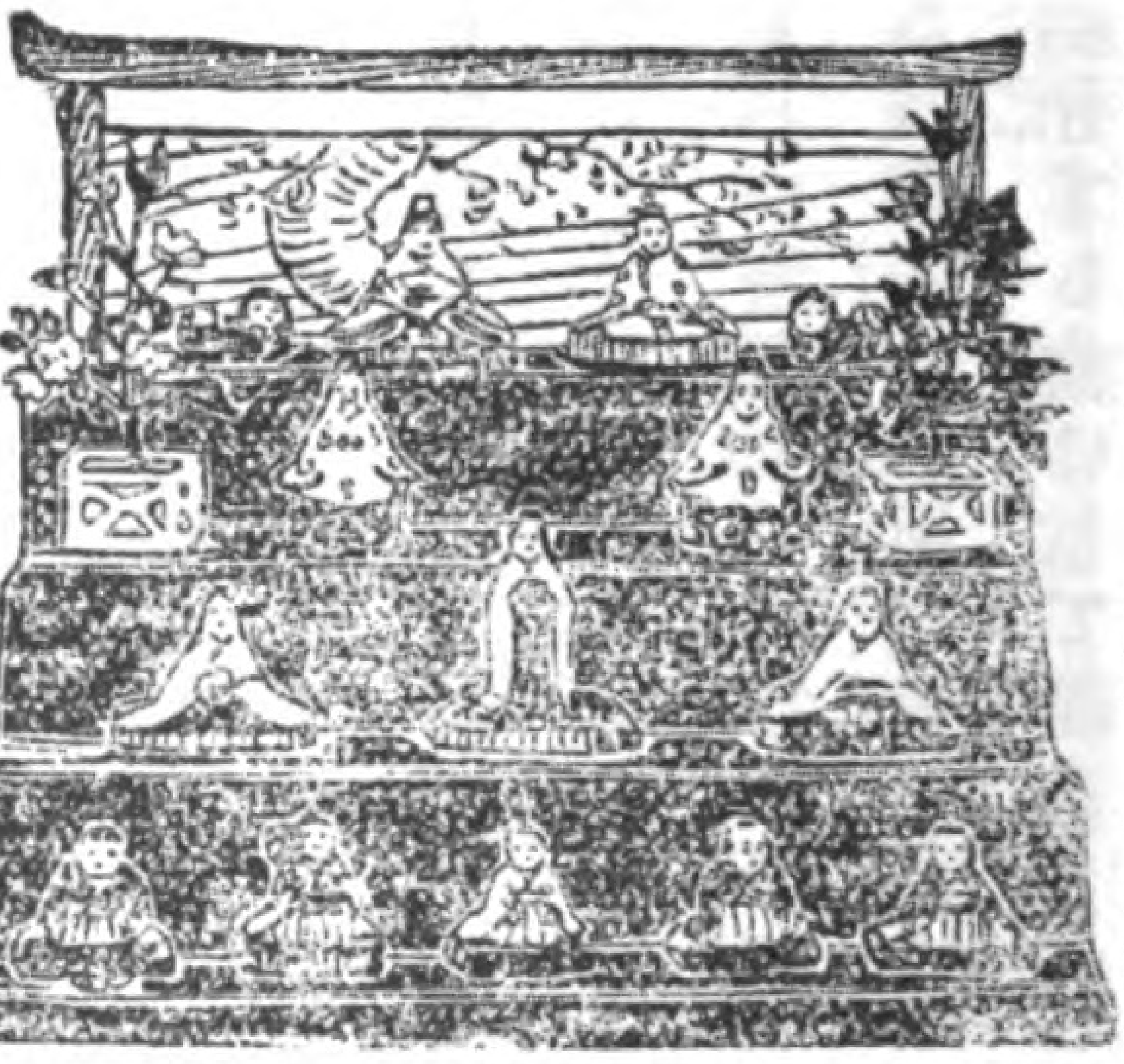
今や露國は舊態を全く失ひました、醉漢なく强盜なく、犯罪率は非常に低下し、勞働生產力は高まりました、云々

カ、チハチエフ

〇〇〇〇樣

◎初節句と陶製豆雛人形豫約。(地方送料卅錢)

(桃の節句三銀好豆雛人形)



間口七寸五分

雛段、◎笠、附

壹揃(金貳圓)

陶製豆雛十六個
金具組立雛段附
櫻模樣衝立同櫻
立花、造花附桐
柾目組合小箱入

◎申込來る十日限り送品は廿日頃

自製美術器舖

新橋 三銀 (電新千六百卅)

○此一揃でお雛祭りが出來升お祝用に願升

會費毎月 金壹圓

三銀好の珍陶器を毎月配達致升、一年に三圓の景品が有升から實益と興味を兼た趣向配送品は進物用に仕上て有升

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

思出のフオセット夫人

中尾清太郎

戰爭になつてから、ロンドンから來る新聞や雜誌は、アメリカを遠廻りして日本へ入るのだが、それでも此頃は時局馴れがして、メールが平時と殆ど變りなく動くやうになつた。そして其每に私はフオセット夫人(Mrs. Fawcett)の名を聞くことが、段々滋くなつた。——或は女權協會同盟(N. U. W. S. S.)の會員を率ゐて戰時救護事業に着手したとか、出征兵士慰藉に努めてゐるとか、或はベルヂウム避難民の世話をしてゐるとか、扶養者を失つた婦人子供の爲めに盡力してゐるとか、いろいろの事を聞くのであつた。

それで私は夫人に對する二昔も前の記憶を喚び醒まされて、覺束なくそれを取り纏めようとした。

私達の英語の習ひ始めには、ジョン・スチユワード・ミルもあつたし、ジヤンジヤック・ルーソーもあつたし、ハーバート・スペンサーもあつたし、フオセット夫妻もあつたし、それからロード、マコーレーや、ロード、リットンや、ヂスレリーなどは寧ろ彼等の軟文學で識つた。

其中でも、私達は少年時代の事であつたから、ヂスレリーの艷話や、フオセット夫妻の仲善しの話は、どんなにか幼い心を唆つたらう!

で、それを思ひ綴つてみようとしたが、それには丁度マーキメ・ヨシオ君の『フオセット夫人』と題する『ジヨン・プレセス』の一章があるから、私と似た境遇に育つたらしい著者が、同年輩の者の經驗する感想を列ねてゐるのを玆に借用して、私は唯フオセット夫人の著書を紹介する丈にして置く。

"Jonet Doncaster" (a novel) ——

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

"Elementary political Economy for Biginners" 1870.
"Tales in political Economy" 1875.
"Some Eminent Women of the Time" 1889.
"Life of Queen Victoria" 1895.
"Five Famous French Women" 1906.
"Manual of political Economy" —
"Life of W. Molesworth" —
"Woman's Suffrage" 1912.

夫人フオセット （マーキノ・ヨシオ）

（一九一二年）五月十九日、午後八時と云ふに、『コンノート會館』で、ダブリンの有爵市長夫妻の爲め、名譽表彰の宴會が張られた。此日、ダブリンの市長は、下院に對して、婦人參政權の請願をしたからだ。私は此記念すべき宴會に列なる爲め、幸に一枚の招待券を貰つた。で札に記した時刻の少し前に其處へ往つた。巨きな立派な客室と卓とは、すつかり旗と花とで——綠・白・紫の三色で飾られてあつた。多くの有名な、美しい英國婦人達は、もう其處に集まつてゐた。全會館は快活な、然も甚だ眞面目な雰圍氣に滿ちてゐた。

私は數數のほんとに面白い會話を、愉快な英國婦人達と試みた。其時一人の若い婦人が、私の傍へ寄つて來て、さうして、ロンドンにゐる日本婦人で、誰か今度の女權論者の大行列に加はるものがあるだらうか、と云ふ話をした。そして急に話を切つて『あの！。あたし此間、若い支那學生に逢つてよ』と言ひ出した。それから彼女は、其支那學生に就て、とんでもない話を私にした。彼は此若い英國婦人に、イギリスの物は何でも好きだが、どうしても自分の國には欲しくないものが一つある、と云ふことを言つたので、彼女は、それは何かと尋ねた。彼は、それは卽ち女權論者であると告げた。是に於て此若い英國婦人は、『あなたは誰に話をしてるのだとお思ひですか。あたしは熱心な女權論者ですよ』と、きつぱり言つた。すると此中華國の客は、姑くほんとにびつくりしてゐたが、それから彼はまるで調子を變へてしまつた。で彼は、女權論者と云ふ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ものはほんとに見上げたものであると言つたり、しんから彼等の運動には感心すると言つたり、又本國に歸つたら、總ての國人に英國女權論者の事を知らしめようなどとも言つた。

私は此若い英國婦人に、あなたは其支那人の言つた事をほんとにしましたかと、尋ねてみた。彼女は頬笑んで、否否と言はむばかりにかぶりを振つた。

やがて盛餐の時が來た。みんなの人達は、食堂に入つた。私は獨り控へて、一番しまひに入つた。其處には、卓の端に、一つ二つ空いた席があつた。私は其空いた席の一つに坐り込んで、私の食事を始めた。

ペシック・ローレンス夫人は、親切に私への言葉を一人の紳士に傳へさして、『もつと私共の方へいらつしやい』と言つて呉れた。そして私をゴールドスタイン孃の隣の席に坐らせた。其處で私は此オーストリヤから來た女英雄と言葉を換はすの機會を得た。あの國は婦人が選擧權を得た所だ。

盛餐の後、澤山の立派な演説者のあつた中、私はフオセット夫人に最も感激させられた。

フオセット夫人！ 私は、古い物語を讀者諸君に話さなければならない。丁度私が父を亡つた時、私が十一の歳、私は殆ど力を落した。醫者達は、銘銘彼等の意見を述べて、私が永く生きてはゐまいと云ふことを言つた。しかし父は幸福な、快活な考を持つてゐた。で彼は、若し私が此世に於て何か爲事を爲出來したならば、母は彼世でどんなにか慰められるであらうと、私に言つた。さう云ふ希望に輝いた考から、私は氣も昂ぶつた。私は懸命に勉強をし出した。子供らしい遊びをすつかり廢して、全く讀書に時を費すとになつた。其時分は、いろんな英語の科學書が、日本語に反譯されてゐた。フオセット夫人の『初等財政學』(Elementary political Economy)も其中の一つであつた。父は老書生の如く、私と一所にそれを熱心に勉強した。思ふに、恐らく、それが日本に於ける財政學の本の最初のものであつたらう實を言へば、兄きがそれを買つて來て、一番初めに讀み、それから私達にそれを讀むことを勸めたのだ。其

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時父は言つた『何だと？經濟學の本だつて？むづかしいもんだらう！ そりや、どうせ數字ばかりだらう！』私達は財政學なんてものは、からつきし、まるで知らなかつたのだ。しかし私達がそれを讀んだ時に、私達は彼女の哲學的な觀察點に、すつかり感心させられてしまつた。父はいつでも其本の事を『ほんとに驚いた女の本』と呼んでゐた。そして又私達は其本の反譯者の序文にもひどく動かされた。元來其本は、フォセット氏の經濟書が初學者にはむづかし過ぎると云ふ所から、階梯として、先づ反譯されたものであつた。それで、それにはフォセット氏の極略した傳記が書いてあつた。父や私は、どうしてフォセット氏が盲になつたか、又其時に何と彼が其父に答へたかと云ふやうな、傷ましい話に胸を衝かれた。

また其本にはフォセット夫妻の肖像が、扉になつてゐた。反譯者は、其畫が充分にフォセット夫人の淑かであつて威光のある樣子を示すことが出來ないのを申譯してゐた。そして彼は、フォセット夫人が、夫の國會に出席する時には、いつでも連れて行つて廊下に控へてゐたことや、又或る日の事、其處で彼女を見た或る人が、『ほんとにフォセット氏は氣の毒なものだ。自分の妻を見ることが出來ないのだから。夫人は國中で一番上品な、そして美しい女の一人だのに』と感嘆したと云ふやうな逸話を附け加へてゐた。

（譯者曰。私の讀んだのは、樺色クロースの8voの原書であつた。私はそれを慶應義塾出の當時のハイカラに敎はつた。ここの思出はマーキノ君と少し違ふものがある。多分マーキノ君の讀んだのは、和綴三冊物のそれであつたらうと云ふことを、私の知合の一人が私に言つて呉れた。マーキノ君は私より少しばかり齡が若いと見えて、それを讀んだが、私の時分にはまだそんなものは出來てゐなかつた。）

私は今でも彼女の著書に對する生き生きした記憶を持つてゐる。そして彼女に對していろいろ描た少年時代の空想は、もう其時から二十年以上にもなるのだが、其儘に殘つてゐる。私はそれを讀だ時にでも、著者が生

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

きてゐるのだとは思はなかつた。私は彼女をば、過去の歴史中の大人物の一人として、丁度ジャン・ダークや、ハミルトン夫人などを見るやうに思つてゐた。だから、讀者諸君は、私が今目のあたり彼女を見て、どんなに喜んだか、たやすく想像できようと思ふ。私は何か斯う夢のやうに感じた。彼女は私が思つてゐたほどに老けては見えなかつた。却つて如何にも健康に、精力に滿ちて、これならば女權運動に參加しても重要な位置を占めることが出來ようと見受けられた。で私はちよつと彼女と握手して、少し言葉を換はしたいと思つた。けれども私がさうしようと願ふと同じ程の熱心を持つた人達が、彼女を十重二十重に圍んでゐた。それで私は自分の小さい自我の爲めに、彼女を煩はすまいと考へ直した。で私は離れた所から、此『ほんとに驚いた女』(私の父の語)に對する眞實のバンザイを表するため、彼女に向つて頭を下げて置いた。

讀者諸君は、私が幾度も自分の少年時代の物語を繰り返すので、厭になられたかも知れない。しかし、私にはいつでも何か知らさうした私の思出を唆るものがある。私はほんとに親達になつつこかつたものとみえる。それで、若しどんなものでも、親達に對する私の記憶を誘ひ出すものがあると、私は過ぎ去つた昔の甘い生活を思ふのだ。そして坐ろに、しんから打ち悄れて來る。どうか斯う云ふ譯だから、私は讀者諸君に諒恕を願ふのである。

別記。エムメリン・パンカースト夫人が『マイ・オウン・ストーリー』と題する自家の心事を明叙したものを、近頃ロンドンの Eveleigh Nash から出した。定價七志六片。

――本篇の譯者から讀者へ――

マーキノ君の文章を紹介すること、これで二度になる。倘ほ『マイ・アイデアルド・ジョンプレセス』の中には、『フオセット夫人』の續きとも見るべき『女權論者の大行列』と、も一つ『女權論者』と題する稍長いチヤプターもある。都合に依つて、二つとも又譯してみるかも知れない。斯うして私は、インターナショナルに知られてゐても、却つてナショナルに知られてゐない同胞を讀者に紹介したいつもりでゐる。因に――ヨネ野口君はマーキノ君とロンドンで一つ下宿にゐて、思出なつかしい經驗を嘗められたこともあるさうだ。それは彼の『ピルグリメージ』の附錄にも出てゐる。倘ほヨネ君の『ストーリー・オヴ・ヨネ・ノグチ』と云ふ本が近頃出たから、それも其邊の消息があるかも知れない、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

若かき職業婦人と其父母へ

西川光次郎

之れからは日本でも、中流及び中流以下の家庭に於ては、相當の年齡に達してから結婚までの期間、其の娘を今までの樣に遊ばして置くことが出來ない。一は一家の經濟事情から、二には娘の希望から、娘を職業婦人にせずして止むことが出來ない。內が困るからと云ふので娘が外へ出て働く場合もあるが、女子敎育が進步して娘の智慧が啓發されて來ると、彼女等は何にも仕事をせずにボンヤリして居ることが、堪へられぬ苦痛となつて來るのである。

さて今まで父母の厄介にばかりなつて居た娘が、外に出て働くことになり、些少なりとも金儲けをして來ることになると、先づ娘の心持が違ふて來る。獨立の感が強くなつて、人格が著しく發達し、望みも大きくなつて來る。之れは善き方へ向つて來たので、結構なことであるが「私の儲けたお錢ですもの、少しは自由に使つても」と云ふ樣な、茲に一大危機を藏して居る變化も起つて來るのである。而して家庭で父母達も、不知不識、半は獨立の人として娘を待遇し、隣人の彼女に對する態度も、今までとは違ふて來るのである。

娘の心持に斯かる變化があり、父母や隣人の彼女に對する態度が變つて來ても、此の時家庭に調和があつて、父母の間にも、父母と娘の間にも、又兄弟姉妹の間にも、互に充分の理解と同情とがあれば、右の變化は娘一生の危機とはならないで濟むが、若しも不幸にして、此の時家庭の狀態が良好でないとすると、新に職業を得て獨立の感を強よくし・自由を求むる心の增大した娘は、茲に早く此の家を逃れ出でんとの心を起すに至るものである。娘が結婚を急ぐなどと云ふこ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

とも、斯かる際に起る現象の一であるが、之れはまだよい、大抵は斯かる際、家庭外で友達、而かも異性の友達を拵へて遊ぶに至り、玆に娘の墮落と云ふ問題が起つて來るのである。

或若き職業婦人の墮落に就て調べた人の話によるに、此等の婦人は金を貰ひさへしなければ賣淫でないと心得、自己の快樂の爲めに多くの男に關係して居ると云ふことである。

されば若かき職業婦人を持てる家庭の父母達は、若かき職業婦人の中に、右の如き順序で墮落して居る者の多きことに鑑みて、家庭の狀態をよきが上にも、よくせんと心掛けねばならぬことと考へる。

例へば今日は誰の誕生日であると云つて、家族の一人の誕生日が來る毎に、一同食卓を共にして、愉快に食事をしたり、日曜日には成るべく家族一同で、野外へ散歩をしたり、安芝居へ一緒に行つたりなどして、樂を共にすることを、成るべく多くすることは、家庭の結合を鞏固にする一大原動力である。

其の外に父母なり、娘なりの尊敬して居る先生を家庭へ招待して、一同でお話を聞くなぞと云ふことも、家族の結合を鞏固にし、家庭の空氣を良好にする一方法であらう。

又隣人會と云ふ樣なものを拵へて、都會生活には眞の意味の隣人がないが、ソレをあることにすれば、隣人の手前と云ふことから、家庭の結合を鞏固にする、之れも一因となるのである。

更に又、米國なぞでやつて居る樣に、娘は娘達で倶樂部を拵へ、妻君達は妻君達で倶樂部を拵へ、娘の倶樂部がお母さん達を招待したり、妻君の倶樂部が夫達を招待したりするのも、お互に家庭の結合を鞏固にする一原因となるであらう。

凡そ世に若かき職業婦人位、指導と保護とを要するものはないのであつて、ソレには社會的に諸種の設備も必要であるが、最も必要なるは、家庭の結合の鞏固なることである。之れ私が此の文の一讀を、若き職業婦人と其父母達に願ふ所以である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

科學的婦人論（二）

高野重三

（一）雌雄兩性の起り

はしがき

婦人問題の如きものを論ずるに當り、直ちに人類の歴史などより論ぜずして、下等なる生物の學問などより論ずるは、何等關係のなきものに其の關係をつけてわざと迂遠の議論をするかの如く、思ふ人もある樣であるが、人類と下等の生物との關係は、最も深きものであつて、婦人問題を論ずるに當つても、下等生物の雌雄の關係から之れを見なければならぬのは寧ろ當然で、決して迂遠の業ではないのである。例へば社會學の如き、人間社會のことを論ずる學問にして見た所で其の基礎とすべきものは、矢張り天文學や、物理學や化學や乃至は生物學の如き、一見人類には直接の關係なきものを基礎として、之れを論じなければならぬ如くである。男女の關係も矢張り生物雌雄の關係から傳はり來つたものであつて見れば、生物學上より婦人問題を研究することは必らずせねばならぬことなのである。殊に人類は、第一に混沌たるアミバー樣のものより、數十百萬年かゝつて、蟲類、魚類、鳥類、獸類の境遇を經て、今日の人類にまで進化し來つたものであり、第二に人間が母の胎内に於て、發生し、出產後、大人にまで生長する場合に、生物が過去、數十百萬年の間經過して來た狀態を、飛び〳〵ながらにも繰り返すことが事實であり、第三に、今日の男女間の關係に於ける風俗習慣なるものは、前陳の如く、無數の狀態を經過して來りし、生物の雌雄間に於ける風俗習慣の蓄積したる結果に外ならぬものであることが、事實であるとすれば、婦人問題に於ける男女の關係の源を、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

生物の雌雄の間に求めると云ふことは、是非なさなければならぬことである。此の人類に於て男女が出來、生物に於て雌雄の出來た其の原因を探求することが、少なからず、婦人問題の解釋に光を與へるのである。此等の理由によつて、私が婦人問題を研究するに當り生物學に重きを置く所以が分るであらうと思ふ。

さて昨年の春、紐育の或新聞社で、其の時までに世界各國に於て出版されし婦人問題に關する十二大傑作の投票を募つたことがあつたが、ソレに當選した傑作の一は、英國の婦人ハアツウリー女史の著した、婦人に關する誠なる事實（一昨年出版されたもの）と云ふ大部の本であつた。

同女史はエレン、ケイなどの流を汲む母性尊重主義に屬する論者であつて、ケイにしても亦ハアツウリーにしても、私は其の議論はヤ、狹隘だと思つては居るけれども、併し其の派の論者としては、共に錚々たる人々である。同女史の著書の第二章に『雌雄又は男女の性の起り』と題せる一文がある、其大意を今日紹介したいと思ふのである。

雌雄兩性の起り

生物の此の世に發生せし以來今日に至るまで、生きとし生けるもの、皆な一つの勢力によつて動かされて居る。此の勢力は卽ち生殖上の衝動である。此の衝動によつて、私共の種は永遠より永遠に續くものである。ゴク〳〵の昔より今日に至るまで、非常な力を以て私共婦人の間に不安を引き起す其の原因は、性慾である。此の力を拒絶することは無用の沙汰であり、又之れを抑制することは不可能のことであつて、たゞ之れを浪費せざる樣に、よく之れを整制するの外はないのである。

單純なる細胞より、今日の如き複雜なる男女に至るまで、凡ての生物は發育し、且つ生殖する二つの慾望を持て居るのである。而して性の起りと、其の目的とを知るにより、私共は始めて其の力と其の美しさを未だ曾て知らざりしよりも尙ほ強く、深く感ずるのであ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

る。此等の生命に關する事實を回避して知らざる眞似をせし爲め、今日まで少なからぬ過ちに陷つて居たのである。私共は昔の先祖の情操なり、性的關係の進化をたどりて、茲に始めて男女の關係に於て、必然缺くべからず、且つ永遠に續くものと、其の反對のものとを區別することが出來るのである。從て私共は、一方に於ては私共の進み行くことを中止し、他方に於ては更らに進み行くべき望みを發見するのである。卽ち今日男女間にある風俗習慣等、最早や今日の狀態に順應せざる爲め、之れを打破しなければならぬものあるを悟るに至ると同時に、過去の情操の歷史を研究することによつて、更に其の力と美しさを感ずるに至るのである。

さて生命の偉大なる力は、凡ての力の元たる營養より始まり、ソレが或程度にまで進み、有り餘るに至て第二の生命の力を形成するのであつて、之れが卽ち生殖である。卽ち營養若しくば發育から、物を蓄積するの力と、而して之れを生殖するの二つの力が發するのである。營養は個體の生命を維持し、又發育する爲めに食事をとり、生殖は其の個體の屬する種族の存續を得ん爲めに同じ方法を行ふのである。ヘツケルの云ひしが如く、生殖とは成個體以外に其の機體が營養發育することを云ふのである。

私共は生殖は、單に營養發育を擴張したものであることを、心に充分會得せねばならぬ。成程私共が日日見聞して居た所の動物なり植物なりは、大概雌雄兩性の細胞が結合して始めて生殖を爲すのであるが、併し生物の始め卽ち所謂下等なる生物の大部分は此の二個の細胞の結合によらず、其の個體ソレ自身の發育膨脹によつて其の種屬が增加するのである。之れを無性生殖と云ひ、此の無性生殖に三種ありて、

第一は、其の個體が二つに分裂することによつて。

第二は、其の個體から芽を出すことによつて。

第三は、包子生殖と云つて、一個の個性が澤山の個體に又速かに分るゝことによつて、

繁殖するのである。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

最も單純なる一つの細胞しか有せぬ生物にありては其の個體が、二つの同じ様なる分量の個體に分れて獨立し、其の分れたる個體が或程度まで發育して更に各各二個の個體に分裂し、ソレが又或程度まで發育生長して、三度び、各々二個の個體に分裂し、斯くして幾度となく此の方法を繰り返して、遂に其の種屬が數百千萬の個體に繁殖するのである。之れが第一の無性生殖法で、其の第二の方法は出芽によるのであつて即ち或時期に於て、母體が突出し、ソレが漸次大きくなつて、遂に母體と別れ、而して此の分れたる小さき芽が再び生長、發育して或程度にまで達するや、再び芽を出し、ソレが又其の母體より分れて獨立して後、同じ方法によつて、生殖繁殖するのである。第三の包子生殖なるものは母體を組織して居る。幾多の細胞が母體の中で幾個にも別れ、而してソレが母體より別れし後に發育生長して獨立したる個體となるのである。

右の三種の無性生殖は勿論大別であつて、其の間に細別すれば種々なる方法のあることは、想像するに難からずであるが、私共はまだ之れを詳細に知り得る程に研究が進んで居ない。此の無性生殖法によつて、增加したる生物は、如何に其の數が增加しても、其の素質に於ては、何等の變化をも認むることが出來ないのである。故に生物が從來よりも異なりたる發達を遂げんとすれば、前陳の生殖法以外の新規なる方法を要するのである。ソコで天然自然は、生物の原始時代に於て種々なる方法を其の發育に試みて、其の中最も善き方法を取らんと企てしが如く、見ゆるのであつて、其の原始時代に於て自然は早くも最も善き方法を發見して居るのである。ソレは即ち受精の方法である。而して此の方法が一度始まりし後は、ソレ以後に生せし高等なる生物は、何れも皆な受精の方法によつて發育繁殖したものである。受精の目的はソレによつて生殖を起すにあらずして、單に生殖をせんとするものを尚ほ能く改良し、完全に爲さしめんとする補助方法に過ぎないのである。之れ丈けは分つたが、無性生殖より、雌雄兩性によつて生殖するに至りし、其の移り變りの

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時代を明かに究めることは、まだ出來ないのである。
有性生殖の時代の始めに於ては、まだ雌雄の區別を認むることが出來ない、たゞ多數の細胞が或一個所に自然と寄集つて居たのであるが此等の細胞が營養を攝收するに際し、或細胞は开を充分に攝收し得るの位地に居るに反し我細胞は之れを充分に攝收する能はざる位地に居りしより、自然細胞と細胞との間に、營養の充分、不充分によつて相違があるに至つたのが、雌雄の出來る元である。或細胞は營養を充分攝收せし爲めにヤヽ大きくなり、或細胞は之れを充分に攝收する能はざる爲めに小さき形のまゝ滿足せざるを得ざることになつて、小さき細胞は己が有する營養を攝收し盡すに至るや、或は何にかの原因によつて攝收を中止せしめらるゝに至るや、大なる細胞と結合を始むるのである。此の大なる細胞が雌の細胞と稱され、小なる細胞が雄の細胞と稱せられて、之れが卽ち雌雄兩性結合の起りでなる。故に性なるものは、生物の原始時代よりあつたものでなくて、四圍の境遇によつて生じたものであると云へる。卽ち一方に於ては、營養の充分なる形の大なる、而して應揚にして穩かなる細胞が雌となり、餓ゑて營養を取らんと必死に活動する細胞が雄となるのである。前者は營養を蓄積し、又建設することを努め、後者は之れを消費し、又破壞することを努むるのである。一言にして云へば、雌の細胞は蓄積的(アナボリック)であり、雄の細胞は破壞的(カタボリック)である。

斯くの如く食物と性との關係は、最も密接なものであつて、之れは單にゴク〳〵下等の生物に於てのみならず、ヤヽ高等な生物に於ても見らるゝのである。例へばヤングはお玉杓子に食物を與ふるに當り、其の營養の充分なるものは雌となり、不充分なるものは雄になつたことは、人のよく知てることである。シイボルドが、黃蜂を試驗したる時には、食物と暖氣を充分に與へしものには雌が生れ、之れを減少せしものには雄が生れたのである。薔薇なぞにつく微細なるキジラメの如きは、夏の中、氣候の宜しき時には雌のみが無數

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に生じ秋口になつて氣候寒冷に食物缺乏するに至るや雄が發生して、ソコで始めて雌雄の交接が始まるのである。鹽水に生ずる小蝦なぞも其の境遇が宜しき時は雌が多く生じ、其の宜しからざる時には、多く雄が生ずるのである。普通の蜜蜂の如きにしても、生れ立ての時、始めの八日間に、食物を充分にやれば、雌となり、之れを減少すれば雄となる。生物が高等になるに從ひ、其の境遇によつて雌雄に分れることを證することは、ヤヽ困難となるには相違ないが、併し之れを證するの事實は澤山あるのである。馬などを育てる場合に、かゝる事實を見出すことが屢々あるのである。毛皮商人などの實驗によれば、土地の肥えたる所に於ては、雌より多く毛を取り、瘦せたる土地に於ては、雄より多く毛を取るのである。人類に於ても同樣であつて、戰爭又は疫病流行の時に於ては多く男子が生れ、都會よりは田舍に於て多く男子が生れる。其の理由は都會に於ては食事は、田舍に於ける食事よりは、概して豐富で、肉類に富めるからであると思はるゝのである。富有の家よりも、貧窮の家に多くの男子が生れるのは、同じ理由によつてゝある。

元より斯かることは、適確にして動かすべからざるものだとは、云ふことは出來ないが、大體に於て雌性又は女性は營養夥多の結果であり、雄性又は男性は其の缺乏の結果であることは爭ふことが出來ないのである。而して此等の事實によりて見れば、雌性又は女性が其の種屬を存續せしむる上に、雄性又は男性のソレに比してより重大なる責任を持て居ると云ふことが容易に證據立てらるゝのである。即ち此の地上に於ける生命進化の歷程に於ては、雌性若しくば女性が之れを嚮導し、雄性若しくば男性は其の後に從ひ行きしものなのである。

▲砂糖は安產藥　ビユリグ氏は砂糖を以て陣痛の催進藥であつて、而も安產藥であると云つてるが、我國にも古來陣痛微弱の產婦に、熱湯に卵黃と砂糖とを混和したものとを飲用せしめて來て居る（家庭の醫學より）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

鎌倉より

玉露女

一月九日から鎌倉へ參りました。此冬は此處で暮す積りで御座います、毎日用事と申せば食べる事とお風呂だけで其暇には諸方へ遊びに參ります、一つゞゝ年の違ふ女兒三人に同じ風をさせて赤いマントに赤い帽子赤い足袋赤い下駄の姿を並べて歩かせる後ろから默つて隨いて歩くのです、飽きれば歌も唱ひます、すると三人とも眞似て唱ひます、東京よりは風が暖です、四邊が靜かです。

大佛樣へ參りました、鎌倉や金にはあれど釋迦牟尼は、と晶子樣の詠みなさつた美男に御座す御佛は端然結迦しまして冬の日は長閑にお顏を輝かせて居りました、お腹の中へ入いりますと、ホツと暖かで蠟の燈はまたゝき線香の煙はゆるく昇つてお頭の觀世音の燦たる金色が拜まれます、外へ出ると休み茶屋のカフヒー、ビールの看板まで和洋兩文字なのも流石鎌倉です。

長谷の觀音樣へも上りました。石段を昇り盡すと一帶の町を一目に見降してはるかに海を望まれます、薄暗い御堂の奥に又高き御佛が立つて御出になるのです二丈六尺の木彫で大佛樣の三丈八尺の御丈に次ぐ大美術ださうで御座います。

鎌倉神社は護良親王をお祭りした社で社後には親王樣の幽閉せられて御座した土窟が有ります、忠義の御心鐵の如き有爲の御方を僅か二十八歳にして足利氏の爲めに御壽命を絶たれ給ひし御恨みの跡です。

つちあなの暗かりし夜はむかしにて
月影高し鎌倉の宮　　高崎正風

日影もさゝぬ土のひとやにはそよとの風の音もなく人をしてそゞろ襟元の冷たさを思はせます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

八幡宮は鶴が岡に有ります。蓮田にかゝる太鼓橋を經て拜殿に參詣し石段を上らうとすると彼の大銀杏が有ります、其階下に仁德天皇を祀つた若宮と云ふのが御座います、靜御前は此處の廻廊で舞つたのです。大將軍頼朝の權威も百萬の源家の勇士が劍の光も靜の戀を怖す事は出來ませんでした。十八歳の美女の胸には吉野山峰の白雪分け入りし貴公子義經の面影ばかりが烙印の樣にしかと抱かれて命も物かはとなつかしんだ其意氣地!! 私は淚がこぼれる程氣に入りました。まだ建長寺星の井戸　と見る處は澤山御座いますから追々に行く積りで居ります。

此地へ參る二日前H夫人M夫人と御一所に帝劇へ參りましたつけ、蛙聲會の歸りに不圖云ひ出したのが初まりでゼミゼラブルを見に行つたのです、貧弱な日本人の新らしい芝居よりどんなに立派でしたらう活動寫眞に過ぎない　と思ひながらも思はず痛快を覺えました。たつた一人の姉さんに與へたいばかりに我知らず盜んだパンの一片から危く邪道に入つた主人公ジャンバルジャンがミルエル僧正の德に化せられて義人となつた血あり淚ある一生は順次に映されました。

荷馬車の下に壓死しやうとした老人の命を救ひ得るものは嘗て囚人として勞役に從事した肩に力ある者ならでは、とジャベール警察部長の試言に市長の榮職も身の安全も打捨てゝ直ちに荷馬車を肩に懸けた雄々しい姿、さては市長こそ脫獄の囚人よと酸ばさうな口をして睨む部長、屹と見返したへの字に引しまつたジャンバルジャンの口元には決斷力があらはれて居ました

森の中の一筋道をとぼ〳〵と一人降つて辛く流るゝ眞淸水の一桶を汲み上げた孤兒コセットは小暗き山路を木の葉のそよぎにも心置きつゝ息をはづませてたどつて來ました、苦しい朝夕を身にあまる仕事の數々怠れば養ひ親のテナルディアの主婦さんに叱られる! 辛い辛い此世の中に神樣は無いものか……………と淚交りに運ぶ水桶を突と取つたジャンバルジャン「叔父さんが持つて上げやう」

かくしてコセットが救はれた時子持ちの私達は覺え

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

すうれしさに泣きました。

佛國革命の戰ひに革命軍の主領が怪我でもしやしないかとH夫人が心配して居られるうちにコセットの戀人マリウスが重傷を受けました、それを抱いて戰場を逃れたジャンバルヂャンは下水の道をくゞつて行きます、後ろの見物人は「西洋は下水の掃除が行屆いてるんだね」と云つてM夫人を笑はせました。

下水を出た老人と若人とはジャベール部長の手助けに依て無事に其祖父君の邸に着きまして目出度くコセットとマリウスとは婚約が出來ました。

己れの敵を愛せよ　と云ふ神の御言葉を守つて自分をつけねらつて居たジャベールを助けたジャンバルジャンの徳を感じて警察部長は自殺しました。やがて早此の世に望の足りたジャンバルヂャンは遂に天に昇りました。男性美を感じつゝ見物して居た私達はほつと息して外へ出ました。

外は雪でした寒い〳〵銀座通りを傘を並べて歩きました。M夫人は某店へ買物に立ち寄られました。其店の男の人は急いで瓦斯をともさうとして椅子から轉び落ちて腦を打ちました皆本當に氣の毒だと思ひました殊にM夫人は濟まないやうな氣がすると見えて澤山にネックタイを求められました、夫人の眞白の手に並び下げられた幾筋かの色を見て私もおつきあひに一本取りました。而してさた少し行つて風呂敷を買つて歸りました。

家に着いた時は足袋も着物もめちや〳〵にぬれて居ました。膝にはキユラソーの染みが付いて居ました。

キユラソーは五分間休憩に東洋軒へ行つた時一所だつたSさんがブローチットの時私の膝へこぼしたのです、Sさんと云ひ銀座の店の人と云ひ美人の勢力は罪を作ると笑つてばかりは居られません若しもあの人が其後腦病にでもなればH夫人M夫人の責任です私は風呂敷とネックタイを小包にして送る時其人に書き添へてやらうかと思ひました。「此風呂敷を持つ時は魂を丹田に据ゑ深呼吸をして氣を確かにすべし」つて。

冗談は兎に角ヴイクトルユーゴーの靈筆!、あゝ今

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

更に人はかく有りてこそ生き甲斐があると感心しまし
た。今年も勉強が致したう御座いますこと……。
では御機嫌よろしう!!。（終）

慧春の火定石

去年十二月號の本誌に高安月郊先生が御發表くださいました「慧春の火定」を唱はれました時は、大變に面白く拜見いたしました、けれども慧春の火定されました最乘寺と申すお寺が何處にあるのかといふ事は、どうもあの記事だけではハッキりいたしません、そこで私は是非この先生のお作を「日本婦人史蹟」の一つとして殘したいと思ひまして、少しくその場所に就て御話いたしましやう慧春の火定されました最乘寺と申すお寺は。神奈川縣相模國足柄郡小田原町にございます有名なお寺です、然し俗に小田原の道了權現と申した方が、尚一層人口に膾炙いたして居りますので、よくお分りにならうかと存じます。その最乘寺に、今以て慧春の火定されます時に、用ひられました石が、殘つてございますから、箱根へでも參られましたせつには、お尋ねなさるのも一興と存じ、一寸お知らせ致します。（筑波）

新眞婦人短歌

東京　近藤なを子

恐ろしと思ひぬ時に好まざる人までに我信用なえく
悲しさに泣きたり我は口惜しさに泣きたり戀のくぢ行く流れな
せまき故かこまかき故か物事に、感じ安きは女なりけり
こらへ消す心を持たぬ淺ましき女は我と知りし淋しさ

山田房枝

ひとり居の杜の靜寂に眼とづれば、ちぎれ／＼の我おもひかな
何故の淋し心かわれ知らじ、直なる戀のあきたらぬかな
新らしき戀のみあさる優男、物乞ひとならば我も與へん
すたれ行く我若さをもかへり見ず、物怖ぢ心地けふも暮れけり
戀すれば若き我が頬にわが愛の、影ふれてだにさはだつ心
現世に花げしの戀はせじと云ふ。男姿のたのもしさかな

三良院恒子

我世にて唯だ一人の戀人にさへ、悲しや心背きそめしか
やゝもすれば荒き事のみ云はんとす、心抑へど抑へんとすれど
おもひでの銀の細糸悲しくも白く光りて我をとりまく
新らしき日はにこやかに照りはえど反きし心かへり來ぬかな

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

赤ん坊趣味（一）

西川文子

私は出産のお悦びに行くのが一番好きです。そして其の時の御挨拶には『赤ん坊などは、ものも云はず、笑ひもせず、犬や猫ほどの藝もなく、猿の樣に一面うぶ毛におほはれた眞赤な顏、で他人から見ては何の可愛さも、面白みもない樣ですが、朝夕抱きしめてゐるお母さんから見ると、何とも云へぬ可愛いゝものです。』と申します。キヨト／＼と見廻す眞面目くさつた顏、無心ににこつと快ささうにする顏、さも不快さうに苦さうにする顏、やがてベツをかく顏、それ相應に皆をかしく全く七面鳥の樣です、『お芝居／＼と人は云ふが千兩役者だつて赤ん坊の眞似は出來やしない、小供を見てゐるのが何よりおもしろい』と田舍で出入のお婆さんのよく云つたのを今更の樣に思ひ出す。さう云へば私も七面鳥の樣に日に幾回代つた役を務めるか解らない。お母さんになつて小供を見る。事務員になつて手紙ハガキ雜誌を出す、外交員になつて外出もすれば私自身になつて考へもする讀む事も書く事もある、妻として夫の衣類のつくろいもする、時にはおさんどんになつて買物に行く事もあり、數へれば際限がない、それ／＼いやな事も面白い事もあるが、赤ん坊を見てゐるのは一番窮窟で縛られてゐる樣に感じるが、又それ丈に一番おもしろく樂しいのです。

野蠻時代の人や貧民ほど天然自然の恩澤を切に受けるものはない、防寒の用意なきものに日光はどんなにありがたいものでしやう、熱帶地や暖室の産物を得ることの出來なかつた時代に、冬枯の後の春の若菜、竹の子黄瓜なすを得るのに天然の季節がどんなにまたれたでしやう、人工を加へない時代にはそれ丈け天地自

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

然の氣候と密接の關係があるのです。それと同樣、乳母任せにする貴夫人や、里子に出して自から面倒を見ない母親は、赤ん坊を解する事は出來ない、赤ん坊時代のみでない、成人して眞の可愛さが起らない、それは赤ん坊時代ほど母親と心身の進退を共にするものはない、其の間に深い〳〵愛情が養はれて、乳に離れ、母の手を離れ、膝下を去るに至つても、やはり赤ん坊時代の深刻な愛の餘波が終生愛を繼いで居るのに過ぎないからです。

同じ母親の乳ばかりに養はれて居ても、一ヶ年も經てば、赤ん坊は赤ん坊自身として獨立に健康を損じたり、治したりする丈の體力もあるが、極最初のほどは母親自身よりもより深く母親の食物により影響をうけるなど密接の關係があるのです、例へば菜葉を食べ水を飮んでも母親自身は何ともないのに、赤ん坊は下痢したり、青い便通がある樣に、赤いお菓子、黄色いものを食べてもやはり便通にあらはれるのです。其の他風を引いても引く、凡て連帶責任ですから全く不養生は出來ないのです。母親にとつて赤ん坊の便通のベットリとよく消化して、菜の花の樣に黄色く、食べて見たい樣に香ばしいのを見るほどうれしい事はないのです、それが肉體ばかりではなく心理作用の影響も甚しいのです。先年高島平三郎先生の兒童研究を讀んだ時に、『或お母さんが大變怒つた後に授乳したら赤ん坊は死んで了つた。それは乳に毒素が大變混じて居たからだ』と云ふ事がありました、全く不安な心地惡しい時心配事のある時、不愉快な時は、授乳する氣分にもなれないが、强ひて無理にのませても、赤ん坊はさも不味さうに、いやさうにはぐ〳〵と乳首をはみ出して容易に含まうとしない。これではと萬事を捨て丶落ついた氣分になつて赤ん坊專門になれば、本氣にのみ出します、それは工合よく含ませられたからでもありませうが、確かに母親の心理作用にもよります。

又赤ん坊を見るとつく〳〵天性、天禀天賦と云ふ事を思はせられる、養育敎育に先きだつて先づ生れつきの性質と云ふものが人をどんなに支配するものか知れ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ないと云ふ事を思はせられる。生れながらに胃腸の非常に强い子弱い子、鼻が惡い、咽喉が惡い、或は頭がと云ふ風に其長所、短所が自然と定まつてゐて、病氣をすれば必ずその短所をおかされる、精神的にも著しい短所長所は既に定つてゐる。その缺點に精神を集注して特に注意し、かつ日記をつけてその點を小供が大きくなつてから小供自身にも注意する樣に、深く心得させておきたいと思ふのです。

それ〳〵其の當時はよく觀察してゐる樣でも、後になると忘れるものであるが、始めての赤ん坊の育つのは歩き出した時、笑ひ出した時、もの丶云ひ始めとよく記憶してゐるものです、それで見ても始めては最も深く印象されるものだと思ひます、從つて親は長子を尤も愛する樣です。先きの赤ん坊がやや大きくなつて忘れた頃に、又赤ん坊を見るのは面白いものです。女性にとつて出產は一大革命、一大變化である。毛は脫ける、又新らしく生える。私は其都度齒を一枚づつ損ずる、けれども、其の爲め氣分を新らしくするので、變化ある女性は幸福であると感謝して居る。

* * * * *

日本の婦人と西洋の婦人

小口みち

我日本の國には國家の富の程度に比例して、一體婦人の服裝やら、其他裝身具等が大さう贅澤に失して居ると云ふお話です、私は歐米先進國の婦人たちに就いての智識が甚だ迂遠であります故に、果してさうであるかそれを確める便宜は持ちませんが、歐米各國の婦人たちが甚だ經濟的であると又贅澤であるとに係らず生產力の乏しい日本の婦人達ちが身の程を考へないで徒らに虛榮や虛飾にうき身をやつして、男の玩弄物と

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

なることを喜ぶやうな傾向は婦人の地位を益々卑からしめ、そして、男子の經濟上の負擔を重からしめ双方とも甚だ不利益な懸引をし續けにつゝけて行かねばならぬ事だと思ひます。

今日の女子敎育家先生方は口をお開きになれば女は虛榮心が強いと必ず仰つしやることに極つて居ります婦人の修養談を伺へば必ず堅實であれ虛飾の心を遠ざけるやうにと、云ひ合したやうに誰方でも約束したやうなこと計りを仰せになります。

けれども公平に判斷を下しますと、婦人が美々しい高價な物を好んで身につけたがつたり、借金を質に入れても借着をしても人に後れを取ることを情ながつたり、一向つまらない心ある男の人達ちには到底其心理作用が分らないことにのみ年中心を痛めて居つたりすることについては、罪は獨り女にのみあるのではなく男は其半分を正に分つべき責任があると思ひます。

それはどう云ふ譯かと申しますと、男には男の一つの誇りと云ふ物があつて、それが誠につまらない女から見ると男にのみ限られた一種の虛榮心とでも云ふのでせう、正當なる理由の下に正當なる方法をもつて婦人が職業に從事しやうとするのを自分の娘や姉妹や妻に手內職をさせたり收入の道を心配させたりすることが男子として此上もない恥辱のやうに考へて、徒らに家の中にのみ閉息させて無理にも何もさゝずに置くと云ふやうな傾きが、餘程現今では進んでは居りますが尙男子の方にはかう云ふ囚はれた思想があるのです。

それ故に勢ひ女が男の力を餘りに賴り過ぎて、男に重い負擔をし負はせて平氣で居るのです、男が寧ろそれを望んで居るからであります。

諺にも「小人閑居して不善をなす」と云ひます、小人計りでなく可なりの人格ある人でも閑居をさせて置くと善いことをしない惡るいことは必ず考へ出してする物です。

活社會の事情に通じない、何等趣味性の修養も積まない、よい意味の感化を與へて呉れる友人もない淋しい女が、つひ乏しい財布の中から無理に芝居を見たが

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

つたり用もない贅澤品を買ひたがつたりするのは、金錢の本當の價値を會得しないからでありまして、職業を與へて世の中の本當の嬉しい事や悲しい事に接しさせるやうに致しますと勢ひ無意味な虚榮心は消滅して終ふでありませう。

それと共に一方からは婦人には男子の到底及ばない美しい感情があります。此婦人の美しい感情を程よく洗煉させて、即ち感情の敎育をして、趣味性を高からしめ美に對しての觀識力を養成するやうに努めることが甚だ大切なことであらうと考へます。

佛國の婦人たちは大變に美しくお化粧をして、さうして美しい服裝をして巴里の街路等に於て見られる女は皆美しい、たつた一人の醜婦も居ないと云つて居られる方があります、其くせ一方では佛國の婦人は大へんにしまり屋であつて、財布の口を堅く結んで居ることについては殆んど吝嗇に近いと云ふ定評があります

それは佛國の女が美と云ふ物に對しての識見を一般に持つて居るからでありまして、地質等の粗末な物でも縞や柄や色の配合等が美しく上手であるためにそれが非常によく見えて、一口に云ひますと「氣がきいて」居ると云ふことになるのです。

東京等でもよく見ることですが、田舍の金持ちの娘さん達が非常な高價な物を撰りにえつて野暮な醜い物として着たり被つたりして居られます。

定めし日本の婦人たちが巴里へでも行きますとかう云ふ嘲りを巴里の女から受けることであらうとおもひます。

佛國が工藝品の製造法が發達して居つて、世界の美術國だと云はれて居るについては私は佛國の婦人の力が與つて力あることを信じて居ります。

日本の婦人方も徒らに高い價格の物のみを買ひたがらないやうに、安い品物をより價よく人に見せるやうな方面の智識を養ふことに努めなければならぬと考へます。お召よりはめりんす類の柄の面白い物等を上手に取り合せて氣のきいた風に着こなすこと等を共に研究して見たいと思つて居ります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

姙娠中の心得

神田助産所會長　高橋ゆき

姙婦、産婦の心得と云つた樣なものは大家のお醫者さんでも産婆や看護婦には話し易いけれど素人の婦人には實に話し難い。あまり用心する樣に云へば、怖氣がついて恐ろしがり、何でもない樣に云へば油斷して取返しのつかぬ樣な事になると申されます。それは不養生を爲れば恐ろしいが注意さへすれば何でもない事です。

惡阻の手當

姙娠中惡阻の爲めに食物を受付けないで困る方が往往ありますが、さう云ふ時には朝床の中で食事を取り三十分乃至一時間休んでから起きるとをさまります。又熱いものを食べない樣に少し冷してから食するのも一方法です。それに消化し易いものでなくてはならぬのは申迄もありません。又食物のすゝまぬのは便秘してゐる爲めである事が多い樣です。姙娠中の便秘ほど恐ろしいものはありませんから、便通と云ふ事にはよほど氣をつけなければなりません。私は三人ほど便秘の爲めに瀕死に陷つてゐる方を救つた事がありますが一人の方などは産婆の試驗まで受けた方で或銀行員の夫人になられたのですが、試驗は受けても、實際に當つた事は無いので、姙娠五ケ月目には一ケ月も食事が出來ないで、骨と皮ばかりに瘦せて半月も寢たきりで何か食べやうとすると、其の臭ひが鼻をついて嘔吐を催すと云ふ風で、食事を長くしないから嘔くものもなくたゞ黄ろい水ばかり嘔いてもう死をまつばかりと云ふ風だつたのです。私が呼ばれていつて見ると、腹部は五ケ月やそこいらの胎兒ばかりとは思はれぬほど膨脹してゐるので、便通はと聞くと、もう半ケ月も見な

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

いと云はれるので、それは大變です、灌腸してみましやう、少しつゞけて爲て效果がある樣だつたら一週間も續けてする事にし、效果がなければ病院に入らなければと云つて大きな灌腸器で二杯餘りも灌腸しましたするとグウ〳〵と云つて尾籠な話ですが眞黑な便が大きな便器に一杯とれました、それから毎日〳〵さうして二週間の後にはお湯につれて行かれる樣になり、お粥が食べられる樣になり、其の後出產まで無事で起きてゐられました。姙婦には下劑などを用ゐるのは危險だから一番灌腸がよろしい。

灌腸を手輕にするには

灌腸は素人にも誰方にも出來ます、又極簡單に便所でゞも御自分でなさる事も出來ます。それにはかさばつて大きな灌腸器よりは手輕なスポートがよろしい。グリスリンと微溫湯とを當分にしてスポートの中に一杯入れ、スポートの差込み口にもグリスリンを少しつけて、肛門に入れよくしてするのです、馴れゝば湯に食鹽を一摘み入れても、石鹼を解し泡を取去つた微溫湯でもよろしい、毎日の樣にするには只の微溫湯でもよいので、もう何の雜作もありません。序ですから申しますが、小供の食べ過ぎでお腹の病む時にも灌腸すれば直ぐ治ります。便秘を打やつておくと、腸チブスや腹膜炎などを引おこしますから、家庭には殊にお子樣のおありになるおうちでは是非スポートを一個備へておいて欲しいものです、スポートは四十錢內外で何處の藥種店にもあります。

便秘の外に姙娠中に恐ろしいのは閉尿です、此の爲めには全身にむくみが來ます、世にはむくみは姙婦にはよくある事で、分娩すれば治ると云つて安心してゐる人がありますが、是れはやはり腎臟の惡い爲めに來るので、なか〳〵恐ろしいものです、脾疳と云つて癲癇の樣にぶる〳〵ふるひ出すのは、このむくみをすてておくから起るのです、脾疳は泡をふかない丈で癲癇と同じで、非常な力でふるふので、齒をくひしばつて舌をかみ切つて死に至る事があるので、醫師や產婆は、鐵の螺旋狀のものを齒と齒との間に鋏ませます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ふるひの四五回で止るのは一兩日も經てば、全快しますが、四十回五十回とふるふのは、とても治りませんそのまゝ亡くなります、こんな恐ろしい事になるのも只最初のむくみの來た時分に醫師に診て貰つて尿を取つて貰へばよいのです、閉尿を心づかずに居る結果です、又腎臟の惡いのは尿を試驗して見ればブツ〳〵濁つてゐるので直ぐに分ります。

今一つ姙婦に危險なのは結核性の婦人の姙娠です、これは如何する事も出來ず月の重なると共に益々病勢が進むばかりですから、早く三四ケ月目に胎兒を出さなければなりません、先頃濱田病院で手術した婦人は七ケ月子は助からないから、と云つて八ケ月になるのをまつて出しましたが、もう時期がをくれてゐて母親の病勢がすゝんでゐた爲めに助からなかつたのです。

そんな母胎から生れる子もいづれ弱いのですからそれよりは小の蟲を殺して、大の蟲を助ける樣に母親の爲めに早く時を失しない中に三四ケ月までに手術して出した方がよろしいのです。

資本金　貳千百五拾萬圓
積立金　八百八十萬圓

株式會社 第一銀行
東京市日本橋區兜町

頭取　男爵　澁澤榮一

伊勢町支店
日本橋區伊勢町

新大阪町支店
日本橋區新大阪町

深川支店
深川區福住町

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

安井哲子女史に寄す書

一　新しい女がなくて新しい母があらうか
二　誰を相手に議論をしてゐるのか

流蘇女

クリスマス號の『新女界』で、あなたの『新しき母』を讀みました。

私は十一月號の『新女界』で海老名みや子夫人の『貞操論』を讀んで、何と云ふ偏狹な議論だらうと思つて、ちよつと『新眞婦人』の十二月號で質問して置きましたが、今度はまたあなたの『新しき母』で、何と云ふ不徹底な議論だらうと大分あてられた氣味でゐます。

一體あなた方は世間が狹い。學問が狹い。狹くとも深ければいいのだが、何んにも深いものがなささうだ。たゞもう敎會で聽く耳學問か、敎會で交はる狹い範圍の同志か、時勢とメッチしない一部敎育社會の人か、そんなものらしいだから議論が窮屈で、通りが惡いばかりか、何等合理的の基礎がない。まあ精精敎會側の人を承知させる位のものであらう。私達は迚も贊成が出來ない。贊成が出來なければ打つちやつて含いたらいいやうなものの、默つて置いたら、あなたは自分の狹い考で世間がみんな贊成してゐるやうに思ふかも知れないから、全く捨てても含けない。

まづ贊成の出來ない適例が、『新しき女』だ私は此文を讀んで、さしあたり、それから來る二つの疑問と、それに伴ふ說者の「不明」と「頭の惡い事」とに想ひ到らざるを得なかつた。

女史（公開狀だから三人稱を使ふ）は、『現時代が眞に覺醒せる女子を要するのみでなく、新しい母をも要することが急であると信ずるのであります』と言つて、以下頻りに新しい母の必要を說いてゐられる。私はここに矛盾があると思ふ。女史は議論の出發點に於て、第一步を蹈み出し損れてゐる。よく考い直して御覧なさい。「新しい女」がなくて、「新しい母」が出來るものですか。「女」である事が初で、「母」である事が其次です。そして女の本が「人」です。但し「人」たる事丈は、女の時にも、母たる時にも離れない。あなたは、まだ古い古いノラの覺醒を知りませんだれ。あんなものでも、あなたのやうな方には、見て置く必要がありさうだ。――あなたの議論には、斯うした缺陷がある。これより以上の議論をすれば、枝葉に岐れて行つてうるさいから、今は控へて置く。あなたも毎號『新女界』には何か書かなければならない義務があるにしても、こんなつまらない議論はよしたがいい。先祖の面汚しです。あなたのお祖父さんは息軒翁でしたれ。息軒翁はえらかつた。

次には、あなたの議論は誰に向つてしてゐるのですか、まるで的のない矢數ですれ。『現代の兒童は尋常小學一二年の頃から、知識の點に於て、既に其母親に幾分の不滿足を感ずるやうに見えます。例へば自分の最も好きな飛行機や、電車や汽車などに就て、母親に話しても、餘り興味を起さぬらしく、況して是等に關する新知識が貰へもせぬと云ふことを經驗する』云云と說かれてあるが、小學一二年の子なら八つ九つの子だ。八つ九つの子を持つた母親は、二十七八と見ることが出來る。（尤もお婆さんの子もあらうが）。二十七八なら明治の新敎育は受けてゐるまさか汽車や電車の說明には困るまい。そりや專門の事になれば、誰にだつて、さう解りつこはない。あなたは飛行機に就て、專門家そつちのけの知識があるのか知らないが、そんな事はあなた程に知らなくとも恥辱ぢやない。それともあなたは、あなたの『新女界』を讀む人を、どれ位の程度のものと見てゐるのですか。つまら

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ない雜誌にしても、『新女界』を覗く位の人は、たとひ二十七八の方でなくとも、汽車や電車ぐらゐの說明は出來ましよう。あなたは自分の相手にする讀者階級のめどさへ立つてゐないあなたは『吾國現時の敎育程度では、母親が吾子に知的指導を與ふると云ふことは、小學校の上級に於てすら、旣に困難を感ずるのは事實であります。』と言はれるけれども、さう云ふことを說かれる『新女界』の讀者に、それは當たらない。旣に『新女界』を讀まう位の者には、あなたの議論は無益である。そんな議論は『新女界』の讀者よりもつと低い階級のものに向つて言ふことである。だから、あなたの議論は非常に粗漏である。

尙ほ其他にも私の言ひたいことを列れて、あなたの「不明」と「頭の惡い事」とを愈々明にしたいが、もう面倒臭くなつて來ました。殊にあなたはクリスチヤンで、文部省の學校に奉職してゐられると云ふのだから、大分私達とは考へも違ひ、物の觀方も違ひさうだ。其樣なあなたを覺醒させるには、よつぽど多くの言葉を費さなければならない。さう思ふと、ほんとに厭になる。どうか短いけれども、これだけで赦して貰ひたい。

見たり聞いたり

文子

▲暫らく休息してゐた私は年末になつて始めて石川博士を巢鴨に訪れた。贅澤をして無駄な日を送つてゐる婦人が多くあるから、覺醒させる爲めに大に志をもつてして欲しいといろ〳〵獎勵された。先生は又今日の女子は男子敎育に比し釣り合はない、程度がひくひ女も女學校以上に男子が中學以上に專門敎育や高等敎育を受ける樣に、少し職業敎育とか何とか工夫をしなくてもよいものかと云ふお話であつた。

▲年始はつまらないから止めて雜誌で挨拶する事にしやうと云つて不精してゐた處が、元旦早早百餘通、續々と年賀のハガキが來た。之はしまつたやはり一年一度の事だから虛禮の樣だが親交をつゞける爲めに出すべきものだとつくづく思つた。市中でも一々同禮するのは容易でない賀狀廢止論の本家だと思つてゐた高島さんからも、家族一同の名と年齡とをかいて來た十年昔の友人からは家族六人の寫眞をはがきにすり込んで『こんなに大家族になりました』といつて來た、私は此の二つを一しよにしたものにすればいゝと思つた。

▲父と活動にいつた小供が歸つて來て『アンなあたり前の人ばかり出て來る活動つまらない西洋人や西洋のおうちも出て來ないんだもの』と云つて笑はせた。『實は活動が一ぱいでは入れなくて浪花節に入つたのだつた相です。

▲二日には高野先生のお宅に行つて奧さんからミルクに就て大變參考になる事を聞いた、奧さんは九人のお子さんや今のお孫さんをもみんなネッスルのみでお育てになり、それをお解きになるのにはお內で每朝おもゆとるアルミの器に二杯づつ取つておかれるのだ相です。

▲四日蛙聲會、雪子エミコを動物園に、留守にしておいて大に遊ばうと思つてゐると皆さんの御來會がおそいので子供の方が早く歸つて來た。三時頃からでどうする暇もなかつたが、珍らしい方が遠方から來て下さつたのはうれしかつた。まだ〳〵來られる筈であつた山盛さん、平澤、樋口さんも來客の爲め出られなかつたのは遺憾であつた。

▲十日中尾濟太郞樣のお宅に遊びに行く、長居して歸つてみると、尾崎恒子さんと坂本正雄さんの名刺があつた。久しぶりでお目にかゝりたかつたのに惜しい事をした。

▲十一日非常に〳〵寒い日であつたが、戶板女學校にゆき、大變お世話になつた、小口さんにも一寸立寄つた、久しぶりで、澤山話しがあつ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

たが何だが忘れてゐた樣だ。高安先生へ明日一しよに御訪ねする筈になつてゐた日向さんから夜になつて行かれぬと云ふ電報が來た。

▲十五日篠田病院を訪問した、今度新築された病院は外も內も天井も床も眞白で、心地のいゝ事一通りでない、夫人のお話では昔は病院は醫員が三人なくてはならぬとか、看護婦がどうの藥局がどうのと云ふ事がやかましかつたが、この頃ではそれよりも建築の方がむづかしい、床下二尺五寸以上とか天井の高さ、便所階段の寸法換氣法、日光光線に尤も注意しなくてはならぬ、此病院は自分のものは自分ですると云つて夫の手一つに設計されたのです。警視廳から檢分に來た人も、外部ばかり立派でも內部のそれほどでない病院も多くあるが、こゝは外よりも內部が完全に行屆いでゐると云はれた位だとの事、一通り拜見するに全くどの室も〳〵日光の入らぬ部屋はない、皆明るい光線が入る、天井からも日光が入る、理想的に出來てゐる。私も兼て住居は四方明るい部屋ばかりにしたいものだと思つてゐる。臺所お勝手は夫人の設計であるがやはり日の當る暖い窓に添ふて、棚の樣に食卓を造り、其の下に食器を入れる所、茶碗を入れる引出し、食料品を入れる押入れをこしらへてある、場所を取らない樣に簡便で片付きがいゝ、米櫃は丸いトタン製でふたづきにして、一俵入れるとコヽまでと筋をつけて、升で一々計る世話のない樣にしてある。煮たきには煉瓦へッツイで無煙炭をたく事にしてあるが、一日中湯タンポ、赤ん坊湯とどれ丈、湯をつかつても差支へぬ樣にして千斤內外の無煙炭ですむ瓦斯よりは非常に經濟だ相である。委しく說明されて家屋建築についての智識を大分得た。

▲鴨田さんでこんな珍らしいものを拜見した。奉書に麗々しく

目錄

一赤心　滿腔

今般良緣により御息女坦子どの拙者妻に申受候に就ては幾千代かけて變ることなき印として右贈進致候間御受取可被下候也

大正三年十一月吉日　瀧澤義一郞

鴨田脩治殿

目　錄

一貞淑

今般不思議の良緣によりて拙者長女坦子貴殿妻に差上候に就ては御入念なる御結納御贈與相成り千金にも優りて忝く御受納致し候、依之御答禮の印までに前記の通り進呈仕候間幾久しく御嘉納被下致候也

十一月吉日　鴨田　脩治

瀧澤義一郞殿

これこそ口にはし易いが容易に實行しがたい輪廓打破である。ドン〳〵こんな實行者が出ないと何事も改良されない。

▲會員小林みき子さんは今度山盛秋莊氏と結婚されて山盛と御改姓になり、二月七日赤阪星ヶ岡茶寮で宴會をお開きになります。小生恒子さんも同樣鍋島さんとなりました。みち子さん、すみ子さんも今月來月と引つゞきやがてお母さんにおなりになります。(十七日編輯の後)

新刊紹介

▲**理想の家庭**(石田傳吉氏著)　第一篇金、第二篇人の二篇に分ち、第一篇に於ては金と家庭の關係に關する一切を細論し、第二篇に於ては家の組織、家憲と家風、家庭敎育、家庭と衞生、其他に就て詳しく述べてある。家庭の經營組織法を、平易簡明なる文章で、實際にあてはめて說ひてある所が、本書の特色です。皆樣に一讀をおすゝめします(定價一圓、東京日本橋角、大倉書店發行)

▲**今日の廣告學**(中尾淸太郞氏著)主義發表の演說會も一つの廣告、又所謂サフラゼツトのプロセッションも一つの廣告、と云ふ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

具合に觀て行けば、『今日の廣告學』も私達のムーヴメントに益する暗示がなくては措かない著者は初め之を早稲田大學と立敎大學とに講じ今はライオン齒磨の廣告マネージヤーとして之を實地に試みつつあるのである。其「學」としても强く「法」としても聽くべきものあるは言ふ迄もない。私達は著者が本誌の寄稿者たる故に褒めるのではない。其日本に初めての『廣告學』たるばかりでも紹介するの價値あると信ずる。(定價四十五錢 送料六錢 赤坂溜池三三秋田書院發行)

▲カラマゾフ兄弟(中)

(森田草平氏譯) 前者は宗敎叢書の第十二。三篇を全册したもので後者は同叢書の第四十七篇である。曩にカラマゾフ兄弟の上卷を紹介したが、之れは其の中卷である、完結をまちて細評を試みましよう。

▲續高僧と母

(江部鴨村氏著) 續高僧と母には、元政上人と母、蓮如上人と母、及び玉日姫のことか情趣に富める筆で、書かれてあります。(前者廿錢、後者十錢、東京市本郷區元町二の二十五、日月社發行)

▲生死の研究

(修養協會編纂) 生死に關する、大內青巒、釋宗演、新井石禪、井上哲次郎、河野廣中、加藤咄堂、前田慧雲、田中舍身等二十一名士の說話を編纂したものである外に諸所の餘白に、生死に關する古人の金言が掲げられてある。(二十五錢、東京麻布區我善坊町十、修養世界社發行)

▲獨身婦人

(中村星湖氏譯) 佛國ブリユウ氏の脚本を譯したもので、此の脚本はイブセンの「人形の家」よりも、物質的實際的に婦人問題を取扱て居る。其の最後の一句を左に紹介して置きましよう。

いいえ、私は今晩巴里行の汽車に乘る積りですけれどもあなたの男工達は浮れては居られません………此兩性の新らしい戰爭では、きつと征服されるのは男子の方ですよ、女子は男子のやうに酒店へ持つて行くべき給料の餘分を必要としませせん故、極く低廉に働けるのです……諸國に、都會に、田舍に、貧乏人や半貧乏人の家に、アルコオルの爲に荒らされ、又は結婚の勇氣の無い者に依つて空虛にして置かれた境遇から、名々一人づゝの女子が立上つて、其處を棄てゝ、工場なり、仕事場なり、事務室なり、勘定臺なりの彼等男子の傍へ座を占めに來るでありませう。彼等はそんな女を主婦とすることを欲しませう、そしてそんな女は實笑婦となるを潔しとしませぬ故婦人勞働者と成るのです、競爭者と成るのです、誇る競爭者と！おさらばです！。(定價廿五錢、東京牛込矢來町三、新潮社)

▲死の勝利

(西宮藤朝氏著) 今度、神田の敬文館から、世間には賣行きの善き書物もあり、賣行きは惡しけれども價値の多き書物もあり。廣く讀まるゝ書物、並に廣く讀まれねばならぬ書物を撰びて先づ其の梗概を說き、更に其の內容を評論し、其の長所と短所を明かにし云云との目的で發刊せられつゝある、名著梗概及評論叢書の第十五篇として、發行せられたのが、此の書で、ダンヌンツイオの名著『死の勝利』の梗概を記して、之れを評論したものである。私はまだ『死の勝利』を讀んだことはないが、此の書で其の大體を知り、非常に面白い書だと思つた。(定價二十五錢、東京神田小川町四十一、敬文館)

▲革命家の見たる迷宮記

今回、日東堂から出版された此の書は、支那の新しい女、德菱氏の手に成つたもので、嚢に英譯されて、英米の讀書社會を騷がしたが、日本の讀書社會も亦大に此の書を歡迎することであらう。女史は學成つて巴里より歸國して後、西大后の待女となつて宮廷に入りし人、此の書は其の才筆を以て、支那宮廷の日常生活を、細かに實寫したもので、讀んで實に面白く、其の間又多大の敎訓も含まれて居る。定價其他は別項の

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

廣告にある通りである

▲三銀の旅行用茶器

新橋際美術陶器舖三銀本店は市内有數の老舖として殊に其製品は意匠巧妙品質精良を以て有名なるが其四季に因める陶器の如き美術品としても他に類を見ず常に新案を凝らして斯界を賑はし居れる店主は此程旅行用籠入仕込の茶器を案出して賣出せり同品は急須、茶碗、大小茶入、茶巾等一揃爐しの籠に入れたるものにて茶好きの風流人が旅行中の茶器として携帶するには至極重寶なるべく或は遠方へのお土產進物としても頗る適當の品なり因に同店の茶道具は東京市の一名物として數へらるゝものなれば同品の優良なるは推して知るべし

本社の相談部

▲本社内に相談部を設け

(1) 職業を求むる御婦人

(2) 職業の選擇に迷ふ御婦人

(3) 家庭及び一身上に苦悶ある御婦人

(4) 結婚の事

等の御相談に應じます

▲相談部の主任に面會したき御婦人は、午後御出で下さい。

投書募集

▲和歌、俳句、感想文などの投書を歡迎します。

▲每號新刊小說を讀みての感、劇を見ての感などの投書を歡迎します。

新眞婦人定價表（每月一回一日發行）

一冊（郵稅共）	拾壹錢
半年分（郵稅共前金）	六拾錢
一年分（郵稅共前金）	壹圓拾錢

御注意

●註文は總て前金の事前金盡くれば必ず「盡」の一字を朱にて帶封に認む直に送金なき時は發送を停止す●郵劵代用は壹錢又は五厘切手にて一割增

◎新眞婦人廣告料　特別面三十圓、一等廿五圓、二等二十圓、普通面十五圓、木版を要するものは別に實費を申受くべし

大正四年一月廿八日印刷納本
大正四年二月一日發行

本鄉區駒込林町二〇六番地
發行兼編輯人及印刷人　西川文子

本所區番場町四番地
印刷所　凸版印刷株式會社分工場

東京市本鄉區駒込林町二百六番地
新眞婦人社
郵便振替貯金口座東京（二四五五六）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新眞婦人社代理部特賣品

理容水白粉	純白、淡紅、正價五十錢
エメラ化粧水	正價 大五拾錢 特大七拾錢
理容煉白粉	正價三十五錢
理容固形糠	一打入十五錢
ピノー化粧水	正價二十五錢
ピノー水白粉	正價二十五錢
ドルセーアレ止クリーム	正價二十錢
ドルセー皮頬紅	正價八十錢
コールドクリーム各種	自二十錢七八十錢以上
化粧用石鹸各種	自二十錢六拾錢位
美顔用品各種	
香油香水各種	
粉白粉各種	二十五錢ヨリ壹圓位迄
萬能キハツ	一ポンド入、二十五錢

右各品共美容研究會に於て品質の優良なる事を保證いたし價格は正價時價より五分或は一割乃至一割五分引を以つて高需に應じ可申御注文の榮をえたく此段廣告仕候也

婦人販賣員募集

芝公園十五號十一

代理部事務取扱

小口みち

○市内は御一報次第販賣員をして御用御伺はせ可申候也

簡易 美顔術箱

特價金參圓五拾錢　送料金拾八錢

五種挾帶用美術箱入

内容（マッサージ、ルーラー 一具　マッサージ用クリーム 一瓶
カッピング、カップ 一具　ハイジエニック、クリーム 一瓶
フエシアル、ブラシユ 一具　使用說明書 一部）

美顔術が美容と健康に偉大の効果あるは今更申上ずとも既に一般の事實です、唯口惜いのは遠隔の地に御住ひの爲に思ふ儘この幸福を都人と同樣お受け遊す事の出來ぬ一事です、今回右の事情に鑑み何人にても簡易に東京にてお試みになると同じ効果ある美顔術箱を御分ち致します

効力　にきび、そばかす、吹出物は勿論お顔のしわをのばし常に生々たる自然の色艶を出す

○說明書二錢切手封入あれ

深き自信を以てお進め致します

お若い方に殊に御婦人にニキビ、吹出物の出來ました位醜いものは御座いません、其に付て私共でも商賣柄の責任上常に非常に苦心をいたし良藥もがなと存じて居ました所今回幸にも其目的を達し、偉大なる効力ある逸品を得まして皆樣に御報告いたす事を心から喜んで居ります

特長と効力

本品は普通藥品と其類を異にし、未だ日本に無い化粧用のクリーム體になつて居りまして、ニキビ、ソバカスを全治するは勿論、ナマヅ、タムシ、ハタケ、赤鼻等にも驚く可き効驗を有して居ます、其上冬分あれ止用として二重の効果があります

ニキビ取用 理容クリーム

（アルミニユーム容器入）　一罐 金五十錢　送料八錢
特製 金壹圓　送料共

東京新橋竹川町十二、 美顔術婦人御化粧所 理容館
電話新橋一五一九
振替東京一四一〇〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

勞働者の自覺と社會政策の實施とは刻下の急

勞働及産業

一冊金十二錢　半年分七十錢　　二月號　　一年分一圓卅錢（すべて前金）

見よ本誌内容の充實を　**要目**　讀め先覺者の語る所を

資本家は自ら覺るべし……鈴木文治

工場勞働要義……神田孝一

英國勞働界の現狀……勝田一

工業の盛衰と戰爭の強弱　藏川永充

若き勞働者の歌…長橋大河

進歩と努力……鈴木文治

勞働訓……坂本正雄

車夫の現代觀……檜森利三郎

英國の婦人界……藏原惟廓

○ガーフィルド　○勞働者と教育　○これからの女　○寒暖計の話　○婦人及家庭　○最近の勞働界　○文章、詩歌、

大戰亂より何を學ぶべきか……向軍治

生活と勞働問題……古川仲太郎

米國職工の美點を紹介す　南條哲次郎

神は最大の勞働者也…内ケ崎作三郎

發行所　東京市芝區三田四國町　友愛會出版部　振替東京三一五七

脳病精神病専門

東京巣鴨町四丁目巣鴨電車終點先二丁

巣鴨脳病院

（長電話番町三〇九八）

院長 醫學博士 石川貞吉

入院随意

●らい病(びやう)

患者(くわんじや)と血統(けつとう)者(しや)に急告(きふこく)す

秘密療法及豫防新書を送費二錢送れば無代送呈す一日遲れば千日の悔あり今直に申込め秘送は小包料八錢要

東京下谷車坂町五二 福田秋水

脳神經精神病

東京赤坂 帝國脳病院 青山脳病院

院長ドクトルメヂチーネ 齋藤紀一

醫學士三名 田澤醫學士

特長 電芝二七四五 電芝二六六五 電芝三四〇六

皮膚病一切 たむしの妙藥

タムシン

東京市京橋區入舟町四丁目 本舗 橋本進世堂

ね小便 近小べん

治効確認禮状感謝状日々來着奏効豫期以上直接來院すれば施藥規定もあり遠地又事情にて來院出來ざる方に新式ね小便根本療法書無代呈す藥品部宛ハガキ申込め

東京本所區中ノ郷元町 電話本所三三四二番 東京新療院

『修養世界』主筆　菅原洞禪師著

禪林奇行

和漢古今の居士禪僧が、奇行佳話を蒐むるもの、實に百十數項、一として、古聖證悟の過程、前賢參究の所得たらざるなし。綿密なる佛祖の行履、潑剌たる禪林の消息、正にこゝに盡きたりと稱すべき也。

總假名附　定價壹圓　郵税八錢

鈴木大拙先生著（第七版）
禪の第一義
定價一圓　郵税八錢

忽滑谷快天先生著（第二版）
達磨と陽明
定價一圓十錢　郵税六錢

大内青巒先生著（第八版）
禪の極致
定價六十錢　郵税八錢

大内青巒先生著（第二版）
青巒禪話
定價一圓廿錢　郵税八錢

新井石禪老師著（第二版）
修道禪話
定價一圓　郵税八錢

竹田默雷老師著（第二版）
禪の面目
定價一圓　郵税八錢

東京小石川區原町六　振替東京一五六八六　丙午出版社

東京小石川原町六　振替東京一三五三　鷄聲堂

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

花柳病豫防液

ゼニール

專賣特許

旅行家ハ必ず本劑の携帯を忘れ給ふな

「ゼニール」は花柳病の感染を豫防する未曾有の特効を有し之を裝置する安全注入器は携帯至便小形堅牢なる特許品にして秘密使用に恰適す、花柳病の恐るべき害毒を知る諸士の忘る可らざるは此「ゼニール」本店は勿論何處の取次店も大に歡迎す決してきまりわるがり又は僅の金をおしみ給ふな、特に夫に病毒ある妻君は是非此藥を用ひられよ、説明書あり申込あれ

婦人は藥液ばかりでも間に合ひます

定價

特製（器械藥液）	一組	二圓
甲種（器械藥液）	一組	壹圓五十錢
乙種（器械藥液）	一組	七拾五錢
藥液ゼニールのみ	一瓶	廿五錢
送料	各	八錢

發賣元

東京銀座貳丁目

精錡水本舖　岸田吟香

振替東京四七八七番

電　京六一五番

本社取次書籍雜誌

西川光次郎著

ウヰリヤムブース言行録　定價廿五錢　郵稅四錢

トロー言行録　同

カンベッター言行録　定價廿五錢　郵稅四錢

惡人研究（品切）　定價五十錢　郵稅六錢

續惡人研究（品切）　同

神道綱要　定價十錢　郵稅二錢

救世軍　同

心懷語　定價五十錢　郵稅六錢

實踐道德簡易入門（品切）　定價四十五錢　郵稅六錢

偉人の戀物語　定價七十錢　郵稅八錢

高野重三著

婦人問題早わかり　定價七十錢　郵稅八錢

西川文子著

婦人解放論　定價一圓　郵稅八錢

西川文子著

新しき女の行くべき道　定價五十錢　郵稅六錢

新眞婦人合本（自一號至十二號）　定價郵稅共一圓

西川光次郎編輯

自働道話

▲四六倍形八頁

▲一部郵稅共三錢五厘

▲一年同卅錢

▲毎月十日發行

平易簡明に、實踐道德、新道德を説く雜誌にして、新年號の要目左の如し。

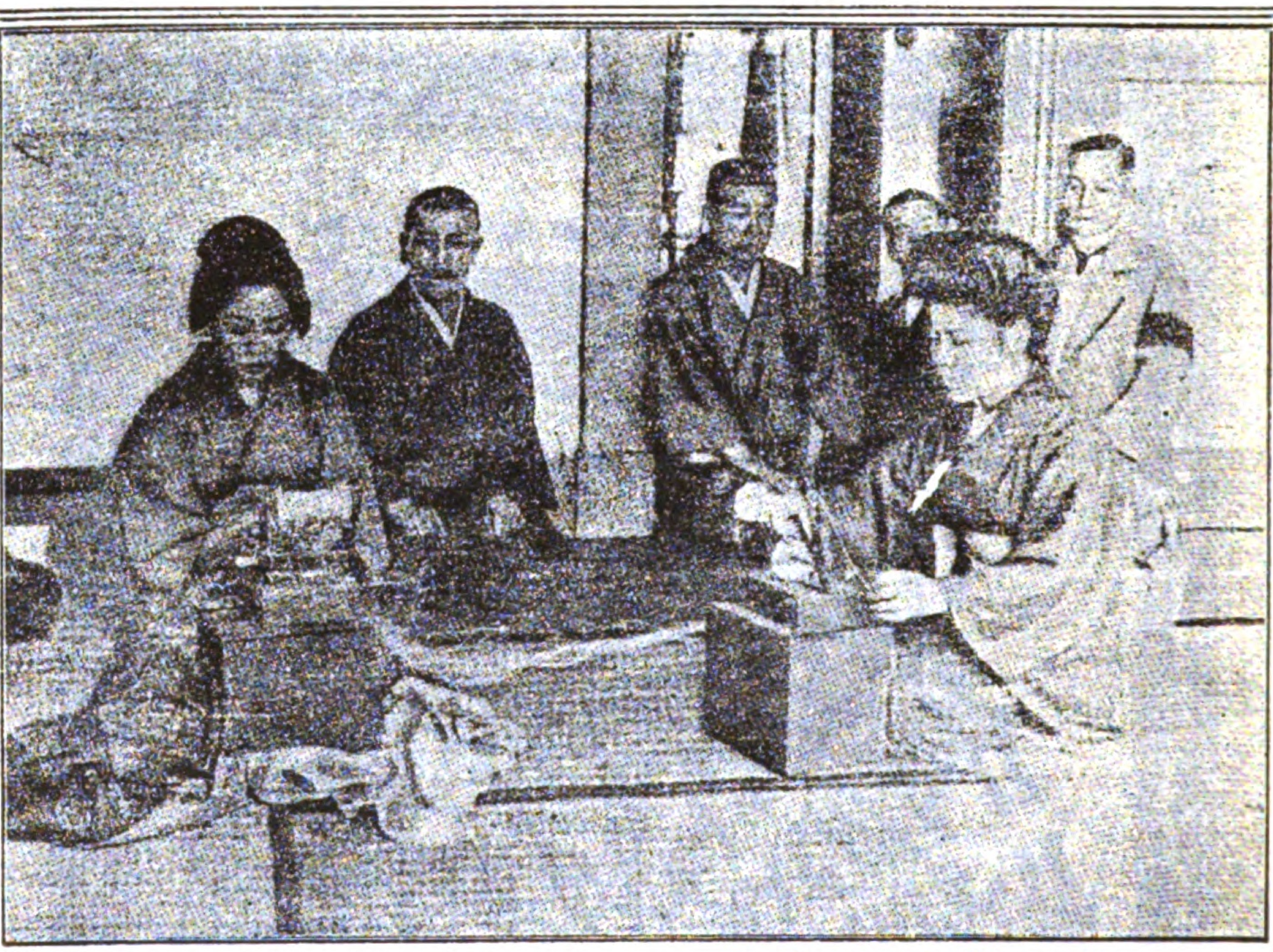
御飯を食べる時間がある▲人に讓ると云ふ事▲太陽崇拜▲戒語▲持藥▲修養の鍵▲體格表彰▲德育上悅こぶべき二大傾向▲村の改良とお寺▲逆境の友へ▲初めて就職せし友へ▲善事の永續▲豫定の計畫▲早老豫防法▲雇主と奉公人▲關先生の心靈治療に就て

東京本郷駒込林町二〇六

振替東京二四五五六

新眞婦人社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



麻絲繼ぎの實況　(東京日日新聞社樓上に於て撮影)

家庭内職の奬勵

△失職者に天來の福音

今日家庭内職として二六時中仕事に切目なく、最も安全確實なる麻糸繼ぎに應用さるべき機械の發見せられたるは、國家の爲め慶賀すべき發明と云はざる可からず。本機械は愛國式麻糸繼結機と稱して最近專賣特許となりたるものなるが、之が構造は從來の機械と、全く其趣を異にし、價格は僅か二圓五十錢にして、永久の使用に堪へ、且其操縱は子供にても少しの練習にて熟達する程なれば大人には尚更容易なる極めて簡單な機械なり。今日迄麻糸繼結機の發明は枚擧に遑あらざれ共、何れも一長一短ありて實用に適するもの皆無なりしため、一般世人に疎んぜられつつありしが、本機發賣元たる愛國商會にては、是等の誤解を解くと共に、機械の眞價を公表せんため、過般東都第一流の新聞として信用厚き報知新聞を始め、東京日々、やまと、中央、東京毎日、讀賣、日本、毎夕等の各新聞社を訪問し、社員立會の上女子をして實地に機械を試用せしめ何れも卅分間五匁目以上八匁目を繼上げ、多大の賞讃を博すと同時に各新聞社より證明書を授領したり。尚其他帝國發明協會長清浦子爵及愛國婦人會等よりも、同樣なる證明書を授けられたり。斯る完全なる機械の現れたる以上、一日も早く使用して相當收入を得家庭經濟の資に充つべきなり。因に目下不景氣とは云へ、麻糸繼ぎの工賃は(十匁四錢より六錢位)なれば、本機を利用せば一日の收入を豫定さるべく、尚同商會は就職者奬勵の爲め、希望者には多少共麻糸を分讓し、繼上たる製品は何時にても現金にて永遠に取引をなす由なれば、極めて安全なり、細は返信料三錢添へ、發賣元たる東京市淺草區花川戸町五十五番地愛國商會へ申込めば直に懇切なる圖入説明書を送附さるべし。(電話下谷一一二)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新眞婦人第二十二號

大正二年四月二十六日第三種郵便物認可
大正四年一月二十八日印刷納本
大正四年二月一日發行（毎月一回一日發行）

定價金拾錢

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA